

長岡高専

平成26年度 学校要覧

2014 COLLEGE BULLETIN



Contents

■ 概要 Introduction	1
技術者教育プログラム Engineering Education Program	3
沿革 School History	4
組織 Organization	5
歴代校長・役職員 Past Presidents and Administrative Officials	6
■ 学科紹介 Departments	7
一般教育科 Division of General Education	
機械工学科 Department of Mechanical Engineering	
電気電子システム工学科 Department of Electrical and Electronic Systems Engineering	
電子制御工学科 Department of Electronic Control Engineering	
物質工学科 Department of Materials Engineering	
環境都市工学科 Department of Civil Engineering	
■ 教育課程表 Curriculum	19
■ 専攻科紹介 Advanced Courses for Bachelor Degrees in Engineering	25
電子機械システム工学専攻 Electrical & Mechanical Systems Engineering Advanced Course	
物質工学専攻 Materials Engineering Advanced Course	
環境都市工学専攻 Civil Engineering Advanced Course	
■ 専攻科教育課程表 Advanced Course Curriculum	29
■ 図書館 Library	31
福利施設 (洗心館) Welfare Facilities (Senshin Kan)	32
学生寮 Student Dormitories	33
国際交流 International Exchange	34
共同利用教育・研究施設 Research Facilities	35
学年暦 (平成26年度) School Calendar	37
学生 Students	38
学生会 Student Council	39
クラブ活動 Club Activities	40
進路 After Graduation	41
研究活動 Research Activities	43
■ 財務状況・施設の概況 (平成25年度) Revenue and Expenditures Facilities	44
本校の位置 Location Map	46



校長 理学博士 渡邊 和忠

President Dr. Sci. WATANABE Kazutada

校章の由来



学章（校章）の選定は、長岡高専の前身である長岡工業短期大学が創立した昭和36年になされました。現在の学章は、本校設立当初設置された機械工学科、電気工学科、工業化学科をあらわすため、それぞれ3学科を象徴する歯車、電動機、原子構造に高専の文字を組合せ図章化したもので、当時の学生、教職員より広く公募、審査の結果、電気工学科短大第1回卒業生、寺島正輝氏の作品が学章と決められたものです。

ロゴマーク



本校のロゴマークは『創立50周年記念事業』の一環として、本校機械工学科 吉田智広さんの図案をもとに作成したものです。長岡工業高等専門学校の英語表記であるNagaoka National College of Technologyの頭文字NNCTをデザイン化しており、「T」の文字の形は矢印の形をモチーフにし、未来に向かう学校と学生たちを表しています。また、文字を前後に配置することで躍動感を表し、文字の色（スカーレットとネイビー）は情熱と冷静さを表しています。

長岡工業高等専門学校校歌

作歌 宮 柊二
作曲 小松 清

一 高志台 われら仰がむ

技術 明晰にして深きもの

長岡高専 われら仰がむ

東山つらなり立ちて

霜くだるあかつきの空

月冠とかかりたり

二 高志台 われら望まむ

科学 精詣にして厚きもの

長岡高専 われら望まむ

信濃川下るを息めず

耕して長かなる岸

露閃々と光りたり

三 高志台 われら誇らむ

工業 総合にして勁きもの

長岡高専 われら誇らむ

新しき炎のころ

生みなさむ未来の世代

わが 胸底はそこにあり

概要 Introduction

高等専門学校の概要

A Brief History of KOSEN (Colleges of Technology)

高等専門学校（以下「高専」という。）は、我が国の産業のめざましい発展に伴い、これに即応した優秀な技術者を養成するため、産業界からの強い要望によって発足した高等教育機関です。高専は、大学教育システムとは異なり、中学卒業生を受け入れ、専門技術者を養成するために、5年間一貫教育を行い、卒業者は準学士と称することが認められます。

また、高専には、高専卒業者を対象に、より高度な技術教育を行うことを目的とした修業年限2年間の高専専攻科が設置されています。専攻科の課程を修了し、大学評価・学位授与機構の定めた条件を充たした者は、同機構より学士の学位が与えられます。

現在、我が国には57校（国立51校、公立3校、私立3校）の高専があります。平成16年4月には独立行政法人国立高等専門学校機構が発足し、全国の国立高専は一つの法人となりました。

National Colleges of technology (KOSEN) were established during Japan's period of high economic growth to meet the demand from Japanese industry to produce engineers who could support the rapid expansion and development of industry. They have been designed to train graduates from junior high school to be practical engineers with five-year consistent educational programs which significantly differ from the high school-university school system. Graduates are awarded the title of associate. KOSEN also offer two-year advanced courses, which follow the five-year program in order to provide a higher level of technical education. Based on their report work and examinations, graduates of advanced courses will be granted bachelor's degrees from the National institution for Academic Degrees and University Evaluation. At present, there are 57 KOSEN (national 51, public 3 and private 3) in Japan. In 2004, the institute of National Colleges of Technology was inaugurated to manage all national colleges of technology.

高専と高校・大学との制度上の関係

School System of Japan (Educational relationship between junior high Schools , KOSEN , high schools and universities)

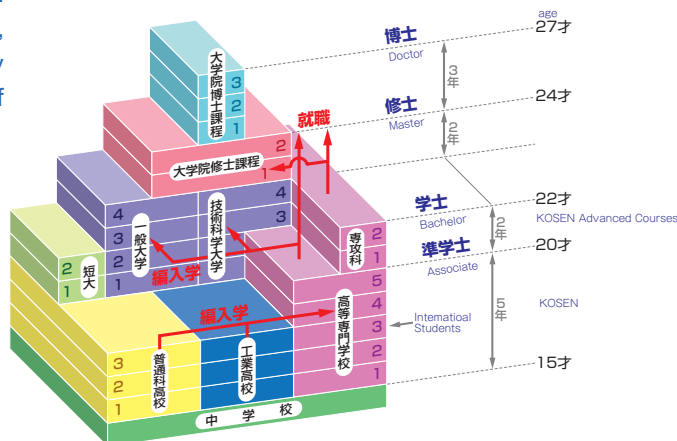
高専の特色

Features of KOSEN

高専の最大の特色は、5年間を通して一貫した教育を行う点にあります。人間形成のための豊かな教養と基礎学力を授与する一般教育と、創造性豊かな技術者の育成を目的とした専門教育とをバランスよく構成しています。理論だけでなく実践的な技術を修得させるために、実験・実習を重視した教育を行っており、卒業生の多くが研究、開発、生産管理等の部門で活躍しています。また、高専専攻科への進学や大学第3学年への編入学の道も開かれています。

高専専攻科では、高専本科からの研究指導、現実の課題に基礎を置いた創成型教育（PBL教育）等により、研究開発能力、創造能力を持った先端技術に対応できる実践的技術者の養成を行っています。

The most significant feature of the education provided by KOSEN is the theoretical and practical foundation offered through the five-year consistent educational program. It consists of subjects which will provide students with broad knowledge for the development of their personalities, and engineering skills. Experimental learning is highly-valued, and students are given ample opportunities to carry out experiments and apply the concepts studied in classroom lectures. Many graduates work in fields of research, development, manufacturing, etc., and the others choose to proceed to advanced courses at KOSEN or to transfer to other universities to continue studies in the fields of specialty. Students in advanced courses are equipped with the consistent academic guidance following the five-year curriculum, PBL (Project-based learning) on practical engineering tasks, etc. toward practical engineers with cutting-edge skills and the ability to do research and development.





▲正面玄関 Front Entrance



▲高専坂から望む長岡市 Kosen-Slope

本校の教育理念と教育目標

Educational Philosophy and Goals of Nagaoka National College of Technology

教育理念

『人類の未来をきりひらく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成』

Educational Philosophy:

To train well-rounded, creative engineering students who are willing to explore and work for the future of mankind.

教育目標

- (A) 人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観をもった技術者の育成
- (B) すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる技術者の育成
- (C) 早期技術者教育の特長を生かし、科学と技術の基礎を身につけた、健全で創造性ゆたかな技術者の育成
- (D) 工学の専門知識とものづくりのスキルをかね備え、情報技術を駆使できる技術者の育成
- (E) 多面的思考力と計画力をもち、課題の解決と技術の開発を実行できる技術者の育成
- (F) 地域の産業と社会に連携し、時代の要請に応えられる実践力のある技術者の育成
- (G) 自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる技術者の育成

Educational Goals:

- (A) To develop engineering students with a sense of humanity and ethics so they will always consider the welfare of mankind and the global environment during their careers.
- (B) To provide engineering students with good communication skills and global views to help them understand diverse values and ideas.
- (C) To install in students healthy and creative attitudes to help them learn the fundamentals of science and technology through the early engineering education.
- (D) To provide engineering students with engineering knowledge and monozukuri (manufacturing) skills so they can use information technology efficiently.
- (E) To provide engineering students with creative and systematic thinking abilities to enable them to solve problems and develop technology.
- (F) To develop engineering students with practical skills who can respond to the demands of the times through collaboration with local industries and communities.
- (G) To provide engineering students with positive attitudes toward learning so that they can develop and expand their own abilities.

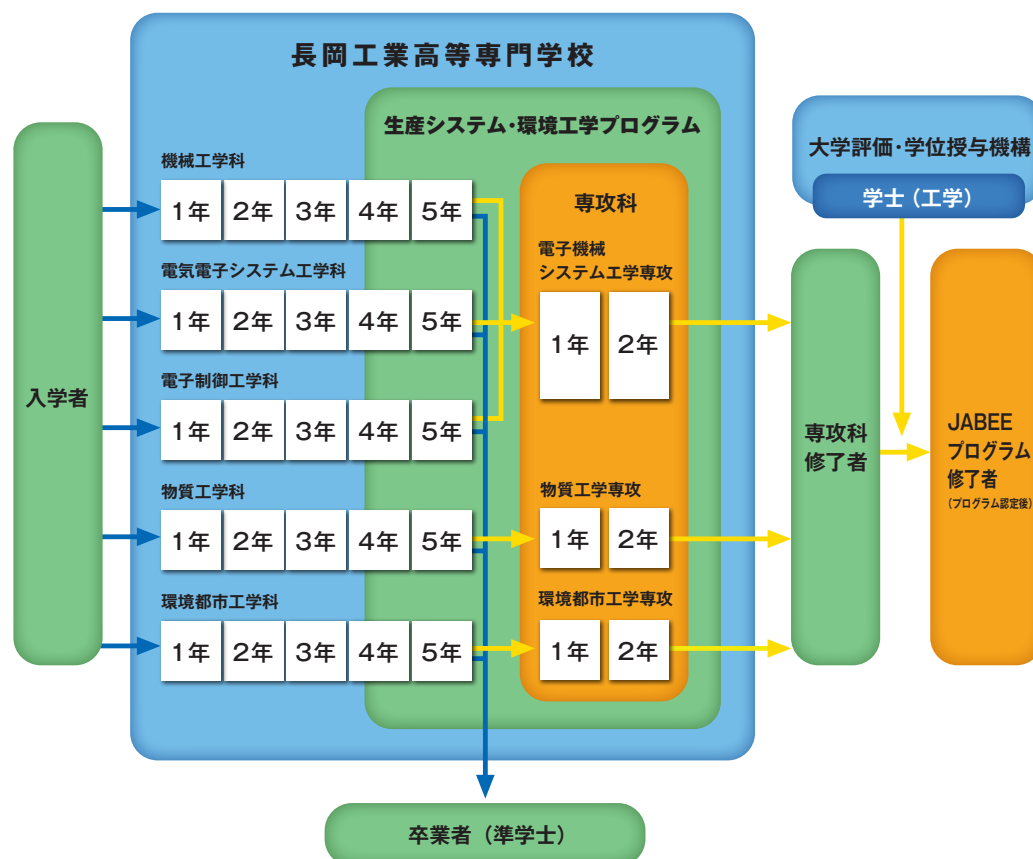
技術者教育プログラム *Engineering Education Program*

本校では、学科の5年間と専攻科の2年間を合わせた7年間の課程の中に、学科の4-5年と専攻科の1-2年の4年間で履修する技術者教育プログラムを設けています。このプログラムは、生産システム・環境工学プログラムの名称で、平成16年4月に公開されました。

生産システム・環境工学プログラムは5つの学科（機械工学、電気電子システム工学、電子制御工学、物質工学、環境都市工学）の4-5年と3つの専攻科（電子機械システム工学専攻、物質工学専攻、環境都市工学専攻）の授業科目で構成されており、学科の4-5年と専攻科に在籍するすべての学生がプログラム履修者として登録されています。

生産システム・環境工学プログラムは、日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering Education、略称 JABEE）の基準に対応するように認定されており、平成17年度に「工学（融合複合・新領域）関連分野」で JABEE の認定審査を受け、平成18年5月に認定プログラムとして認定されました。

With a curriculum set in a seven-year educational program, which is composed of a five-year regular course and a two-year advanced course, the college has an engineering program which runs for four years, from the fourth grade of the regular course through to the upper grade of the advanced course. The program, entitled The Educational Program of Production Systems and Environmental Engineering, was established in April, 2004. The program consists of subjects for both fourth and fifth graders of the five departments in the regular course and for the advanced engineering students in three departments (Electrical & Mechanical Systems Engineering, Materials Engineering, and Civil Engineering). All of the above-mentioned students are considered automatic participants in this program. Moreover, this program was developed to meet the educational levels set by JABEE (The Japan Accreditation Board for Engineering Education) and was accredited in the field of General Engineering Programs by the organization in May, 2006.



沿革 *School History*

昭和 36 年	4 月 1 日 6 月 1 日	長岡工業短期大学（機械工学科 2 学級、電気工学科、工業化学科）設置 第 1 回長岡工業短期大学入学式举行
昭和 37 年	4 月 1 日 4 月 20 日 11 月 8 日	長岡工業高等専門学校（機械工学科 2 学級、電気工学科、工業化学科）設置 第 1 回入学式举行 校舎 1 号館竣工
昭和 38 年	3 月 25 日 4 月 1 日	高志寮（男子学生寮）1 号館、管理棟竣工 校舎 2 号館、4 号館竣工
昭和 39 年	3 月 27 日	高志寮 2 号館、3 号館竣工
昭和 40 年	3 月 21 日 4 月 1 日	体育館竣工 事務部制となり庶務課と会計課を設置
昭和 41 年	3 月 31 日	長岡工業短期大学廃止
昭和 42 年	3 月 18 日	第 1 回卒業証書授与式举行
昭和 43 年	4 月 1 日	土木工学科増設
昭和 44 年	3 月 25 日 4 月 1 日	校舎 3 号館、高志寮 4 号館竣工 事務部に学生課を設置
昭和 45 年	11 月 27 日	図書館、課外活動センター竣工
昭和 48 年	7 月 1 日 12 月 27 日	野球場（長岡市栖吉町前山）竣工 情報処理センター竣工
昭和 49 年	9 月 1 日	第 1 回編入学試験実施
昭和 52 年	3 月 15 日	第 2 体育館竣工
昭和 53 年	1 月 31 日	学生食堂竣工
昭和 56 年	2 月 20 日	雪氷・低温技術教育研究施設竣工
昭和 58 年	1 月 11 日	校舎 1 号館中央棟竣工
昭和 59 年	10 月 1 日	創立 20 周年記念史を発行
昭和 60 年	3 月 22 日	福利施設棟竣工
昭和 61 年	6 月 1 日	創立 25 周年記念式典举行（校旗作製、記念碑設置）
平成 2 年	4 月 1 日	機械工学科 2 学級のうち 1 学級を電子制御工学科に改組
平成 4 年	1 月 28 日	清花寮（女子学生寮）竣工及び高志寮 4 号館を増築
平成 5 年	3 月 31 日	校舎 5 号館竣工
平成 6 年	4 月 1 日	工業化学科を物質工学科に改組
平成 7 年	4 月 1 日	土木工学科を環境都市工学科に改組
平成 8 年	3 月 4 日 3 月 29 日	校舎 5 号館増築 校内 LAN 竣工
平成 12 年	4 月 1 日	長岡工業高等専門学校専攻科（電子機械システム工学専攻、物質工学専攻、環境都市工学専攻）設置
平成 14 年	3 月 19 日 7 月 31 日 10 月 31 日	第 1 回専攻科修了式举行 校舎 6 号館（講義棟）竣工 地域共同テクノセンター竣工
平成 15 年	3 月 20 日	校舎 4 号館改修工事完了
平成 16 年	4 月 1 日 10 月 23 日	独立行政法人国立高等専門学校機構法により、独立行政法人国立高等専門学校機構設立 長岡工業高等専門学校設置 電気工学科を電気電子システム工学科に改組 新潟県中越地震により地盤、校舎、学生寮被災
平成 18 年	11 月 2 日	復旧工事完了、震災復興記念式典举行
平成 19 年	4 月 1 日	事務部を総務課、学生課の二課体制に再編
平成 23 年	4 月 1 日	ロゴマーク制定
平成 23 年	9 月 13 日	創立 50 周年記念誌（高志台の 50 年）を発行
平成 24 年	6 月 2 日	創立 50 周年記念式典举行

組織 Organization

職員 Number of Staff Members

(平成26年5月1日現在 As of May1.2014)

職名 Title	校長 President	教授 Professor	准教授 Associate Professor	講師 Lecturer	助教 Assistant Professor	小計 Sub-Total	事務系職員 Administrative Staff	計 Total
現職	1	27	43	1	6	78	44	122

機構図 Organizational Chart



各種委員会 Committees

将来計画・施設環境委員会 Action Plan Design Committee

自己点検評価改善委員会 Self-evaluation and Improvement Committee

教務委員会 Academic Affairs Committee

学生支援委員会 Student Support Committee

寮務委員会 Dormitory Affairs Committee

専攻科委員会 Advanced Course Affairs Committee

研究紀要編集委員会 College Bulletin Committee

情報公開委員会 Open Resource Committee

図書館運営委員会 Library Committee

総合情報処理センター運営委員会 Information Research Center Committee

地域共同テクノセンター運営委員会 Regional Technology Research Center (RTRC) Committee

教育研究技術支援センター運営委員会 Technical Support Center for Education and Research Committee

安全衛生委員会 Safety and Health Committee

遺伝子組換え実験等安全委員会 Gene Modification Experiments Safety Committee

知的財産委員会 Intellectual Property Committee

情報セキュリティ管理委員会 Information Security Management Committee

情報セキュリティ推進委員会 Information Security Support Committee

動物実験実施委員会 Animal Research Committee

ハラスメント防止委員会 Harassment Prevention Committee

防火・防災管理委員会 Fire and Disaster Prevensi Committee

歴代校長・役職員 *Past Presidents and Administrative Officials*

歴代校長 *Past Presidents*

※昭和 55 年 4 月 29 日～6 月 11 日及び昭和 59 年 2 月 17 日～4 月 1 日は、高橋 旦が校長事務取扱

氏 名	Name	在職期間	Office Term
山 崎 貴 三	YAMAZAKI,Kanzo	昭和37年4月1日～昭和45年3月31日	April 1 1962～March 31 1970
田 健 一	DEN,Ken-iti	昭和45年4月1日～昭和53年3月31日	April 1 1970～March 31 1978
大 戸 敬二郎	OTO,Keijiro	昭和53年4月1日～昭和55年4月29日	April 1 1978～April 29 1980
池 田 朔 次	IKEDA,Sakuji	昭和55年6月11日～昭和59年2月17日	June 11 1980～February 17 1984
高 橋 旦	TAKAHASHI,Tan	昭和59年4月1日～平成2年3月31日	April 1 1984～March 31 1990
岡 本 祥 一	OKAMOTO,Shoichi	平成2年4月1日～平成8年3月31日	April 1 1990～March 31 1996
小 川 正 二	OGAWA,Shoji	平成8年4月1日～平成15年3月31日	April 1 1996～March 31 2003
高 田 孝 次	TAKADA,Kouji	平成15年4月1日～平成23年3月31日	April 1 2003～March 31 2011
渡 邊 和 忠	WATANABE,Kazutada	平成23年4月1日～	April 1 2011～

役職員 *Administrative Officials*

職 名	Title	氏 名	Name
校長	President	渡 邊 和 忠	WATANABE,Kazutada
総務主事(副校長)	Dean of General Affairs	荒 木 信 夫	ARAKI,Nobuo
教務主事(副校長)	Dean of Academic Affairs	山 崎 誠	YAMAZAKI,Makoto
学生主事(校長補佐)	Dean of Student Affairs	鈴 木 秋 弘	SUZUKI,Akihiro
寮務主事(校長補佐)	Dean of Dormitory Affairs	吉 野 正 信	YOSHINO,Masanobu
専攻科長(校長補佐)	Dean of Advanced Courses	片 桐 裕 則	KATAGIRI,Hironori
一般教育科長	Head of Division of General Education	松 永 茂 樹	MATSUNAGA,Shigeki
機械工学科長	Head of Department of Mechanical Engineering	青 柳 成 俊	AOYAGI,Naritoshi
電気電子システム工学科長	Head of Department of Electrical and Electronic systems Engineering	中 村 奨	NAKAMURA,Susumu
電子制御工学科長	Head of Department of Electronic Control Engineering	太刀川 信 一	TACHIKAWA,Shinichi
物質工学科長	Head of Department of Materials Engineering	菅 原 正 義	SUGAWARA,Masayoshi
環境都市工学科長	Head of Department of Civil Engineering	宮 腰 和 弘	MIYAKOSHI,Kazuhiro
電子機械システム工学専攻主任	Director of Electrical & Mechanical Systems Engineering Advanced Course	太刀川 信 一	TACHIKAWA,Shinichi
物質工学専攻主任	Director of Materials Engineering Advanced Course	菅 原 正 義	SUGAWARA,Masayoshi
環境都市工学専攻主任	Director of Civil Engineering Advanced Course	宮 腰 和 弘	MIYAKOSHI,Kazuhiro
図書館長	Director of Library	河 田 剛 毅	KAWADA,Yoshitaka
総合情報処理センター長	Director of Information Research Center	佐 藤 秀 一	SATO,Syuichi
地域共同テクノセンター長	Director of Regional Technology Research Center	片 桐 裕 則	KATAGIRI,Hironori
教育研究技術支援センター長	Director of Technical Support Center for Education and Research	山 崎 誠	YAMAZAKI,Makoto
課外教育活動センター長	Director of Extra-curricular Activity Center	鈴 木 秋 弘	SUZUKI,Akihiro
雪水低温技術教育研究センター長	Director of Snow and Ice Research Center	河 田 剛 毅	KAWADA,Yoshitaka
国際交流推進センター長	Director of International Affairs Center	中 村 奨	NAKAMURA,Susumu
広報戦略室長	Director of Public Relations Planning Office	荒 木 信 夫	ARAKI,Nobuo
学生相談室長	Director of Student Counseling Office	猪 平 直 人	INOHIRA,Naoto
地球ラボ室長	Director of Chikyu-Lab	大 湊 佳 宏	OMINATO,Yoshihiro
留学生指導教員主任	Director of International Students Affairs	井 林 康	IBAYASHI,Kou
水質管理責任者	Director of Water Control	田 中 一 浩	TANAKA,Kazuhiro
遺伝子組換え実験等安全主任者	Director of Gene Modification Experiments Safety	菅 原 正 義	SUGAWARA,Masayoshi
自衛消防隊長	Director of Private Fire Brigade	坂 井 俊 彦	SAKAI,Toshihiko
事務部長	Director of Administration Bureau	草 間 忠 明	KUSAMA,Tadaaki
総務課長	Director of General Affairs Division	本 田 吉 栄	HONDA,Yoshiei
学生課長	Director of Students Affairs Division	小 林 喜 與 志	KOBAYASHI,Kiyoshi

学科紹介 *Departments*

一般教育科 *Division of General Education*

一般教育科は、5 学科に共通した一般科目を担当する科です。

人間形成に必要な広くバランスのとれた知識を教授すること、並びに専門教育を受容しうる基礎学力を築き上げること、この二つが本校における一般教育の大きな目的です。このため、一般教育科目は可能な限り広く各学年に配置されています。また、その内容は、高等学校段階を含み、学年の進行に応じて、漸進的に高度化し、精選されたものになるよう配慮されています。

The Division of General Education has been designed to educate the students in two major areas. First, it provides a broad and balanced knowledge with which students may develop their personalities. Second, it seeks to establish the necessary foundation for an engineering education. The courses from the Division of General Education are spread over 5 years. The content of the courses starts from the high school level and gradually shifts to the university level.

職名 Title	学位 Degree	氏名 Name	主たる担当科目 Main Subjects	
教 授 Professor		佐 藤 公 俊 SATO,Kimitoshi	現代社会・経済学	Social Sciences, Economics
	理学博士 Dr. Sci.	涌 田 和 芳 WAKUTA,Kazuyoshi	数学・応用数学	Mathematics
	文学修士 M.A.	相 原 勝 AIHARA,Masaru	独語Ⅰ・Ⅱ・文学Ⅱ	German, Literature
		阿 部 高 弘 ABE,Takahiro	保健・体育	Physical Education
	博士(学術) Ph.D.	松 永 茂 樹 MATSUNAGA,Shigeki	物理・物理学ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB	Physics
	理学博士 Dr. Sci.	佐 藤 秀 一 SATO,Shuichi	物理・物理学ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB	Physics
	博士(理学) Ph.D.	野 澤 武 司 NOZAWA,Takeshi	数学・応用数学	Mathematics
	修士(教育学) M.A.	米 崎 啓 和 YONEZAKI,Hirokazu	英語ⅡB・英語Ⅰ・英語演習	English
准教授 Associate Professor	博士(理学) Ph.D.	佐 藤 直 紀 SATO,Naoki	数学・応用数学	Mathematics
	修士(文学) M.A.	鈴 木 覚 SUZUKI,Satoru	現代社会・哲学	Philosophy
	修士(教育学) M.A.	占 部 昌 蔵 URABE,Shozo	英語ⅡA・ⅡB・英語演習	English
	博士(理学) Ph.D.	山 田 章 YAMADA,Akira	数学・応用数学	Mathematics
	修士(文学) M.A.	田 中 聡 TANAKA,Satoshi	歴史・歴史学Ⅰ・ⅡA・ⅡB	History
	修士(文学) M.A.	猪 平 直 人 INOHIRA,Naoto	国語・文学Ⅰ	Japanese, Literature
	博士(理学) Ph.D.	新 井 好 司 ARAI,Koji	物理・物理学ⅠA・ⅠB	Physics
	修士(体育科学) M.S.	江 田 茂 行 EDA,Shigeyuki	保健・体育	Physical Education
	博士(農学) Ph.D.	小 川 秀 OGAWA,Shigeru	化学・生物	Chemistry, Biology
	博士(学術) Ph.D.	土 田 泰 子 TSUCHIDA,Yasuko	英語ⅡA・ⅡB・科学英語	English
	博士(理学) Ph.D.	高 橋 剛 TAKAHASHI,Takeshi	数学・応用数学	Mathematics
	修士(教育学) M.A.	大 湊 佳 宏 OMINATO,Yoshihiro	英語ⅠA・英語ⅡA・英語ⅡB・総合英語	English
	博士(理学) Ph.D.	田 原 喜 宏 TAWARA,Yoshihiro	数学・応用数学	Mathematics
	講 師 Lecturer	修士(教育学) M.A.	大 森 理 聡 OMORI,Michiaki	英語ⅠB・英語ⅡB・英語Ⅰ
助 教 Assistant Professor	博士(国際文化) Ph.D.	木 村 博 子 KIMURA,Hiroko	英語Ⅰ・英語B 英語特講B	English
	修士(教育学) M.A.	桐 生 拓 KIRYU,Taku	保健・体育	Physical Education



歴史の授業 History Class



保健・体育(柔道)の授業 Physical Education(Judo) Class



英語の授業 English Class



数学の授業 Mathematics Class



スキー合宿 Ski Camp



新入生合宿研修 Orientation Camp for the 1st year students

機械工学科

Department of
Mechanical Engineering

機械工学は、従来から産業の基本を担う分野として発展してきました。技術革新の進む現在では、工業全体に占める機械工学の役割は多様化していますが、その重要性は一層増しています。本校機械工学科の卒業生は、自動車、航空機、産業機械から、情報、エレクトロニクス、建設及び化学工業にいたるまで、幅広い分野で活躍しています。

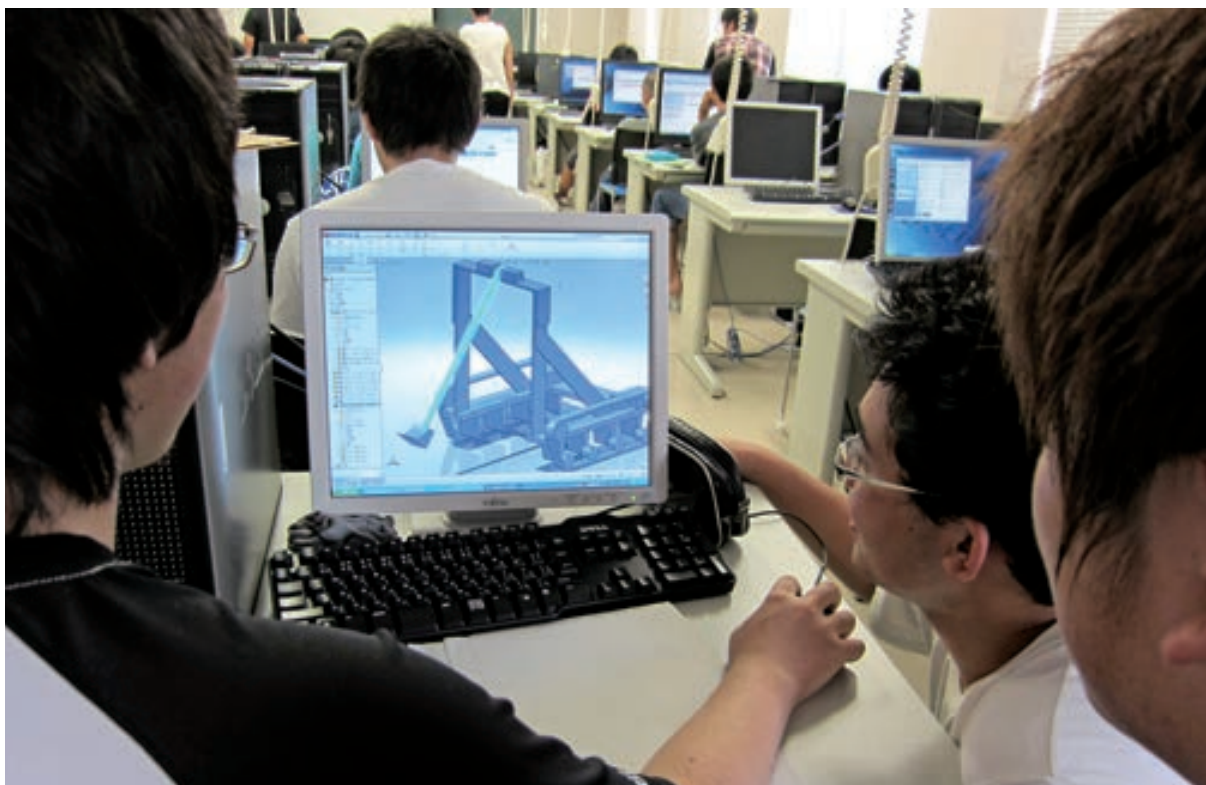
機械工学科はこうした広範な工業分野に対応できる機械エンジニアを育成することを目指しています。そのためカリキュラムは、力学解析、設計・加工、材料科学、計測・制御、熱・流体の各分野を柱として、情報、電気・電子関係も含めて編成し、実験・実習を通して理解を深めています。

Mechanical engineering has greatly contributed to the progress of advanced technology, and has traditionally played a significant role in the fields of various industries. The role mechanical engineering plays in technological innovation is growing in importance throughout the whole engineering industry.

The courses in mechanical engineering seek to provide a broad education with practical application for the basic principles of all branches of engineering. The subjects in mechanical engineering are based on Solid Mechanics, Mechanical Design and Machining, Materials Science, Control and Measurement, Thermodynamics and Fluid Dynamics, as well as Computing Science and Electronics.

Subjects are supported by many related experiments and exercises.

職名 Title	学位 Degree	氏名 Name	主たる担当科目 Main Subjects	
教 授 Professor	博士（工学） Dr. Eng.	吉 野 正 信 YOSHINO,Masanobu	機械要素 機械設計学	Machine Elements Mechanical Design and Engineering
	博士（工学） Dr. Eng.	河 田 剛 毅 KAWADA,Yoshitaka	熱力学A・B 伝熱工学	Thermodynamics A・B Heat Transfer
	博士（工学） Dr. Eng.	青 柳 成 俊 AOYAGI,Naritoshi	材料科学Ⅰ・Ⅱ 材料強度学	Material ScienceⅠ・Ⅱ Mechanical Behavior of Materials
准教授 Associate Professor	博士（工学） Dr. Eng.	大 石 耕一郎 OISHI,Koichiro	電気回路 電子回路Ⅰ・Ⅱ	Electric Circuits Electronic CircuitsⅠ・Ⅱ
	博士（工学） Dr. Eng.	山 岸 真 幸 YAMAGISHI,Masaki	流体力学ⅠA・ⅠB 数値解析法	Fluid DynamicsⅠA・ⅠB Numerical Analysis
	博士（工学） Dr. Eng.	池 田 富士雄 IKEDA,Fujio	機構学 制御工学A・B	Mechanism Control Engineering A・B
	博士（工学） Dr. Eng.	佐々木 徹 SASAKI,Toru	CAD／CAE 材料力学ⅠA・Ⅰ	Computer Aided Design and Engineering Solid MechanicsⅠA・Ⅰ
助 教 Assistant Professor	博士（工学） Dr. Eng.	井 山 徹 郎 IYAMA,Tetsuro	精密加工 設計演習	Precision Manufacturing Technology Practice for Mechanical Design
	博士（工学） Dr. Eng.	金 子 健 正 KANEKO,Kensei	設計製図 情報処理演習	Mechanical Design and Drawing Exercises in Computer Programming
特任教授 Specially appointed Professor	博士（工学） Dr. Eng.	山 田 隆 一 YAMADA,Ryuichi	計測工学 機械工作法	Instrumentation and Measurement Manufacturing Processes and Systems



3次元 CAD 実習 (3・4・5 学年)
Training in 3D CAD (3, 4, 5th grades)



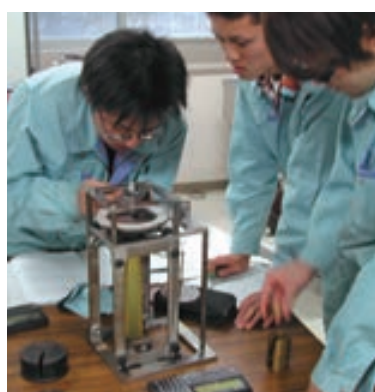
溶接実験 (機械工学実験実習・1 学年)
Welding Training (Experiments in Mechanical Engineering, 1st grade)



技能活用実習 (機械工学実験実習・2 学年)
Manipulation practice (Experiments in Mechanical Engineering, 2nd grade)



野菜収穫ロボットの設計・製作 (総合製作・3 学年)
Design and Manufacture of Vegetable Harvesting Robots (Creative Design and Manufacture, 3rd grade)



ゴム棒の静的ねじり試験 (機械工学実験実習・3 学年)
Static torsion test on rubber rod (Experiments in Mechanical Engineering, 3rd grade)



小型水車の水槽実験 (卒業研究)
Small-scale water mill experiment (graduation research, 5th grade)

電気電子 システム工学科

Department of Electrical and
Electronic Systems Engineering

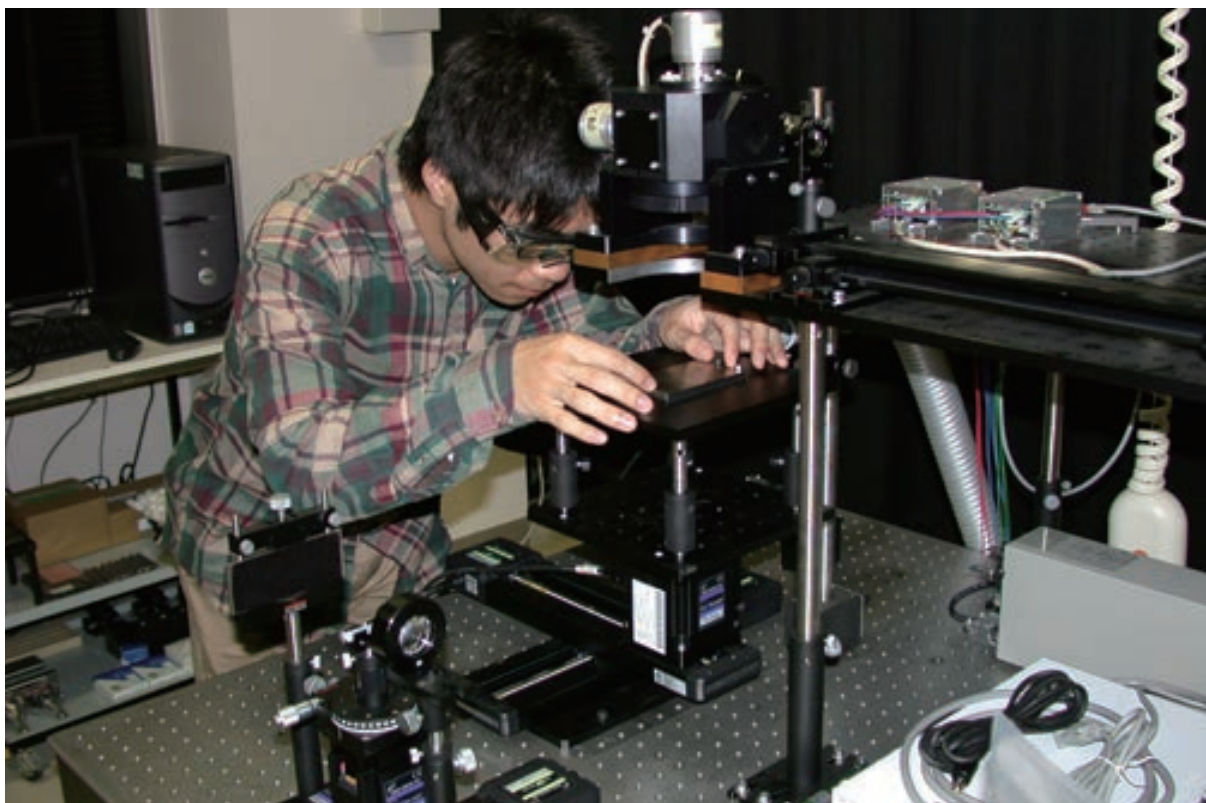
現在、工業界では独創的な発想のできる人材が求められています。これに応えるため本学科では電気・電子工業技術全般について実社会で独創的な提案の出来る人材の育成に努めています。本学科では、教育内容を(1)コンピュータ・情報、(2)電子システム、(3)パワーエレクトロニクス、(4)電子材料・デバイスの4分野に分け、各分野で基礎から応用にわたって段階的に教育しています。その教育は、余裕を持って、親しみつつ頑張るをモットーに、演習・実験・実習を重視して進めています。

また、研究開発能力の養成のために、4学年後半から5学年末まで約1年半、各専門教員のもとで研究の進め方を修得し、自由な発想で卒業研究に取り組んでいます。

Today's Japanese industries require engineers to be forward-thinking, proactive individuals and not those who simply imitate what already is in mass production. The Department of Electrical and Electronic Systems Engineering strives to educate students on how to actively develop innovative products for the future. For several years, a large number of industry-based companies, as well as those in the service sector, have regularly hired graduates from Nagaoka National College of Technology. These companies have consistently expressed their approval of our efforts in training creative engineers. The Electrical and Electronic Systems Engineering Department offers four major areas of study: (1) Computer and Information Science, (2) Electronic Systems, (3) Power Electronics and (4) Materials and Devices. Students majoring in these areas start with the fundamentals, but are trained to deal with the practical application of their studies rather than simply gaining theoretical knowledge.

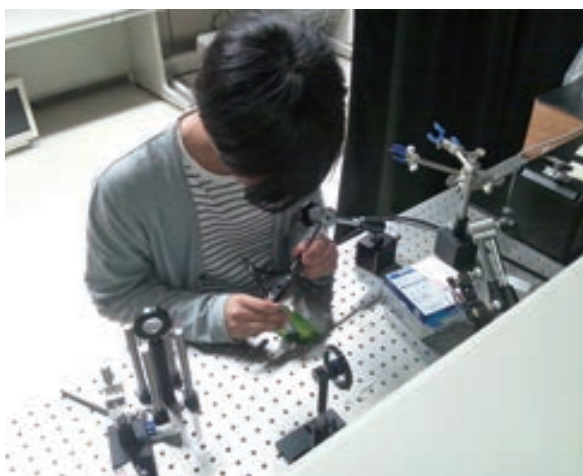
In order to develop the students' research skills, all fourth year students work with an instructor in real life research and development projects.

職名 Title	学位 Degree	氏名 Name	主たる担当科目 Main Subjects	
教 授 Professor	博士(工学) Dr. Eng.	恒 岡 まさき TSUNEOKA,Masaki	電力システム工学 パワーエレクトロニクス	Electrical Power of Systems Power Electronics
	博士(工学) Dr. Eng.	田 口 裕二郎 TAGUCHI,Yujiro	電磁気学A・B 光波工学A・B	ElectromagnetismA・B Electromagnetic Wave Engineering A・B
	博士(工学) Dr. Eng.	片 桐 裕 則 KATAGIRI,Hironori	電気電子計測 電気電子材料A・B	Electrical Measurements Electrical Materials A・B
	工学博士 Dr. Eng.	山 崎 誠 YAMAZAKI,Makoto	プログラミング 電子デバイス	Computer Programming Electronic Devices
	工学博士 Dr. Eng.	中 村 奨 NAKAMURA,Susumu	電気電子工学演習Ⅱ デジタル回路A・B	Exercises in Electrical EngineeringⅡ Digital Circuits A・B
准教授 Associate Professor	博士(工学) Dr. Eng.	樺 澤 辰 也 KABASAWA,Tatsuya	プログラミング演習 通信工学A・B	Exercises in Computer Programming Communication Engineering A・B
	博士(工学) Dr. Eng.	長 部 恵 一 OSABE,Keiichi	電子回路A・B 物理学実験	Electronic Circuits A・B Experiments in Physics
	博士(工学) Dr. Eng.	矢 野 昌 平 YANO,Shouhei	電気回路Ⅰ 応用プログラミングⅠ・Ⅱ	Electric CircuitsⅠ Applied Computer ProgrammingⅠ・Ⅱ
	博士(工学) Dr. Eng.	竹 内 麻希子 TAKEUCHI,Akiko	電子計算機 科学技術英語Ⅰ・Ⅱ	Computer Engineering English for Science and TechnologyⅠ・Ⅱ
	博士(工学) Dr. Eng.	床 井 良 徳 TOKOI,Yoshinori	電気機器A・B エネルギー工学	Electrical Machinery A・B Energy Engineering



紫外レーザーによる微細加工（卒業研究）

Microfabrication using UV laser



レーザー誘起蛍光法を用いた植物の健康診断（卒業研究）

Growth monitoring of plants by Laser-induced fluorescence method



脳波センサーによる音像定位方向推定（卒業研究）

Identification of direction by brain bio-sensor using sound localization



コイルのインダクタンス測定（3学年学生実験）

Measurement for inductance of coil



オペアンプの実験（4学年学生実験）

Experiment on operational amplifier



分布定数線路と超高周波デバイスの特性評価（5 学年学生実験）

Evaluation for distributed constant line and device of ultra high frequency operation

電子制御工学科

Department of Electronic
Control Engineering

家庭電気製品、自動車、コンピュータ等、高機能化する最近の工業製品の生産には、機械と電子回路、コンピュータ等の知識及びそれらの結合技術が不可欠です。電子制御工学科では、これらの分野の設計・生産システムで十分に力を発揮できる技術者の育成を目指しています。そのためのカリキュラムには、計測系、制御系、メカニクス系、電気・電子系、計算機系の各専門科目が配置され、関連分野の理論や知識が習得できるようになっています。また高学年に進むにつれ、より高度な実験・実習テーマが用意されており、実践的技術力も身につけることができます。さらに上記専門分野の基礎学力向上を目指した電子制御基礎科目も用意されております。

Today's electronic control engineers need an eclectic knowledge of mechanics, electronics and computers if they are to be successful in designing, producing and developing advanced industrial products, electric products, cars, and computers. The Department of Electronic Control Engineering trains and educates students to become engineers who will work actively in various areas of design, production and development of many advanced industrial products. The curriculum of the department, which is open to all students, consists of programs that deal with the following: Measurement Technology, Control Engineering, Mechanics, Electronics and Computer Science. The programs include many basic subjects which relate to Mathematics, Physics, and Information Processing.

職名 Title	学位 Degree	氏名 Name	主たる担当科目 Main Subjects	
教 授 Professor	博士 (工学) Dr. Eng.	太刀川 信 一 TACHIKAWA,Shinichi	ディジタル論理回路 データ通信工学	Digital Logic Circuits Data Communication Engineering
	博士 (工学) Dr. Eng.	梅 田 幹 雄 UMEDA,Mikio	電磁気学ⅡA・ⅡB センサー工学	Electromagnetics ⅡA・ⅡB Sensor Engineering
准教授 Associate Professor	工学修士 M. Eng.	外 川 一 仁 TOGAWA,Kazuhito	制御工学B メカトロニクスA	Control Engineering B Mechatronics A
	博士 (工学) Dr. Eng.	永 井 睦 NAGAI,Makoto	材料力学Ⅰ・Ⅱ 工業数学A	Strength of MaterialsⅠ・Ⅱ Engineering Mathematics A
	博士 (工学) Dr. Eng.	高 橋 章 TAKAHASHI,Akira	計算機システム 情報処理	Computer System Information Processing
	博士 (工学) Dr. Eng.	竹 部 啓 輔 TAKEBE,Keisuke	基礎情報処理 コンピュータネットワーク	Fundamentals of Information Processing Computer Network
	博士 (工学) Dr. Eng.	佐 藤 拓 史 SATO,Hiroshi	制御工学A ロボット工学	Control Engineering A Robotics
	博士 (工学) Dr. Eng.	外 山 茂 浩 TOYAMA,Shigehiro	機械創造学ⅠB 線形制御	Engineering in Mechanical Designing ⅠB Linear Control Engineering
	博士 (工学) Dr. Eng.	皆 川 正 寛 MINAGAWA,Masahiro	電磁気学ⅠA・ⅠB 電子回路ⅠA	Electromagnetics ⅠA・ⅠB Electronic Circuits ⅠA
助 教 Assistant Professor	博士 (工学) Dr. Eng.	上 村 健 二 KAMIMURA,Kenji	数値解析 ディジタル工学基礎	Numerical Analysis Fundamentals of Digital Engineering



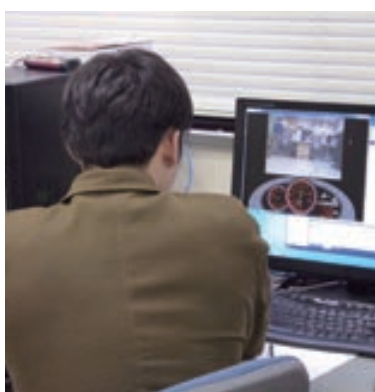
電気回路の実験（2学年）
Experiments of Electric Circuits (2nd grade)



電子回路設計・製作の発表会（4学年）
Presentation of Electronic circuit Design (4th grade)



レゴ・マインドストームを用いたロボットコンテスト（3学年）
Robot Contest with LEGO MINDSTORM (3rd grade)



遠隔操作型車両の操作支援システムに関する研究
Research on Operation Support System of Remote Controlled Vehicle



第2端末室授業風景
Class in the Computer Room 2



簡易操船シミュレータによる操縦性に関する研究
Study on Maneuverability with Simplified Ship Simulator

物質工学科

Department of Materials
Engineering

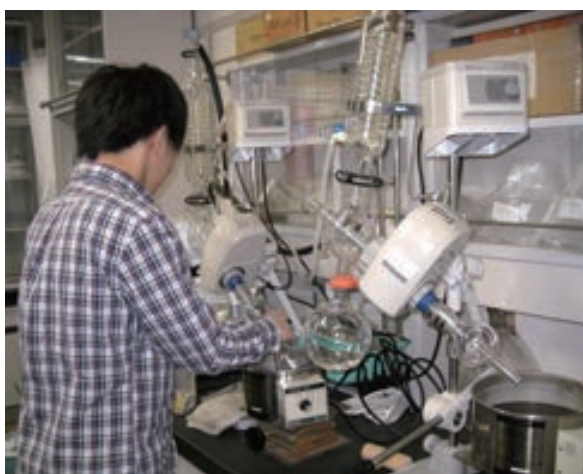
近年、化学工業は化学の知識を基に、新しい機能を有する材料の開発と生産や環境にやさしい技術へと変化しています。それらに伴い、生物の持つ巧妙な機能を応用する試みが数多く行われています。このような社会の情勢の変化に伴い、より高度で幅広い知識と技術を持つ技術者の育成が求められています。本学科では、新しい材料の開発と生産に対応した「材料工学コース」と、生物機能を物質生産に応用することに対応した「生物応用コース」の2コースを設けています。豊富な実験実習を通じて、幅広い分野で活躍を行うための十分な基礎学力と高度な工学的技術を備えた質の高い実践的技術者を養成します。

Recently, the chemical industry changes to the development and production of the new functional material and the easy technology in environmental on the basis of a knowledge of the chemistry. With them, the trial which applies the ingenious function of the organism is carried out in great numbers. The rearing of the engineer with more advanced and wide knowledge and technology with the change of the situation of such society has been required. In this department, 2 courses of "the materials engineering course" corresponded to the development and production of the new material and "the applied biochemistry course" corresponded to applying biofunction to substance production, have been established. Through rich experiment practical training, the practical engineer who has sufficient basic scholarship for carrying out the activity in the wide field and engineering skill of high order is trained.

職名 Title	学位 Degree	氏名 Name	主たる担当科目 Main Subjects	
教 授 Professor	博士(工学) Dr. Eng.	岩 井 裕 IWAI,Yutaka	材料物理化学 無機材料工学	Materials Physical Chemistry Inorganic Materials Engineering
	博士(工学) Dr. Eng.	坂 井 俊 彦 SAKAI,Toshihiko	物理化学 情報処理	Physical Chemistry Data Processing
	博士(工学) Dr. Eng.	鈴 木 秋 弘 SUZUKI,Akihiro	有機化学ⅠA・ⅠB 生物有機化学	Organic ChemistryⅠA・ⅠB Bioorganic Chemistry
	博士(農学) Dr. Agri.	菅 原 正 義 SUGAWARA,Masayoshi	応用微生物学 食品化学	Applied Microbiology Food Science
	博士(工学) Dr. Eng.	村 上 能 規 MURAKAMI,Yoshinori	反応工学 物理化学	Reaction Engineering Physical Chemistry
准教授 Associate Professor	博士(工学) Dr. Eng.	細 貝 和 彦 HOSOGAI,Kazuhiko	高分子化学 高分子物性	Polymer Science Polymer Physical Property
	博士(工学) Dr. Eng.	小 出 学 KOIDE,Manabu	無機化学 基礎工学演習Ⅲ	Inorganic Chemistry Exercises in Basic EngineeringⅢ
	博士(農学) Dr. Agri.	田 崎 裕 二 TASAKI,Yuji	分子生物学 生物化学Ⅱ	Molecular Biology BiochemistryⅡ
	博士(工学) Dr. Eng.	荒 木 秀 明 ARAKI,Hideaki	物理学 化学システム制御	Physics System Control in Chemistry
	博士(農学) Dr. Eng.	赤 澤 真 一 AKAZAWA,Shinichi	生体触媒工学 応用生物化学実験	Biocatalysis Experiments in Applied Biochemistry
	博士(保健学) Dr. Health. Sci.	河 本 絵 美 KAWAMOTO,Emi	基礎生物工学 生物化学Ⅰ	Basic Biotechnology BiochemistryⅠ
	博士(工学) Dr. Eng.	奥 村 寿 子 OKUMURA,Hisako	分析化学 機器分析	Analytical Chemistry Instrumental Analysis
特任教授 Specially appointed Professor	理学博士 Dr. Sci.	栗 野 一 志 AWANO,Kazuyuki	有機化学Ⅱ 有機プロセス化学	Organic ChemistryⅡ Organic Process Chemistry



無機化学実験（3学年）
Experiments of Inorganic Chemistry (3rd grade)



卒業研究（生物有機化学）（5学年）
Graduation Research (Bioorganic chemistry) (5th grade)



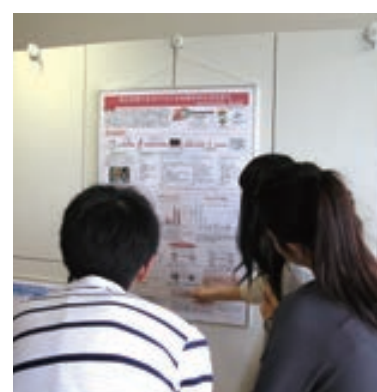
オープンキャンパス体験学習
Experience learning in Open Campus



化学工学実験（5学年）
Experiments of Chemical engineering (5th grade)



光触媒評価装置
Evaluation system for photo-catalyst



卒業研究 中間発表会
Graduation Research (Poster Presentation)

環境都市工学科

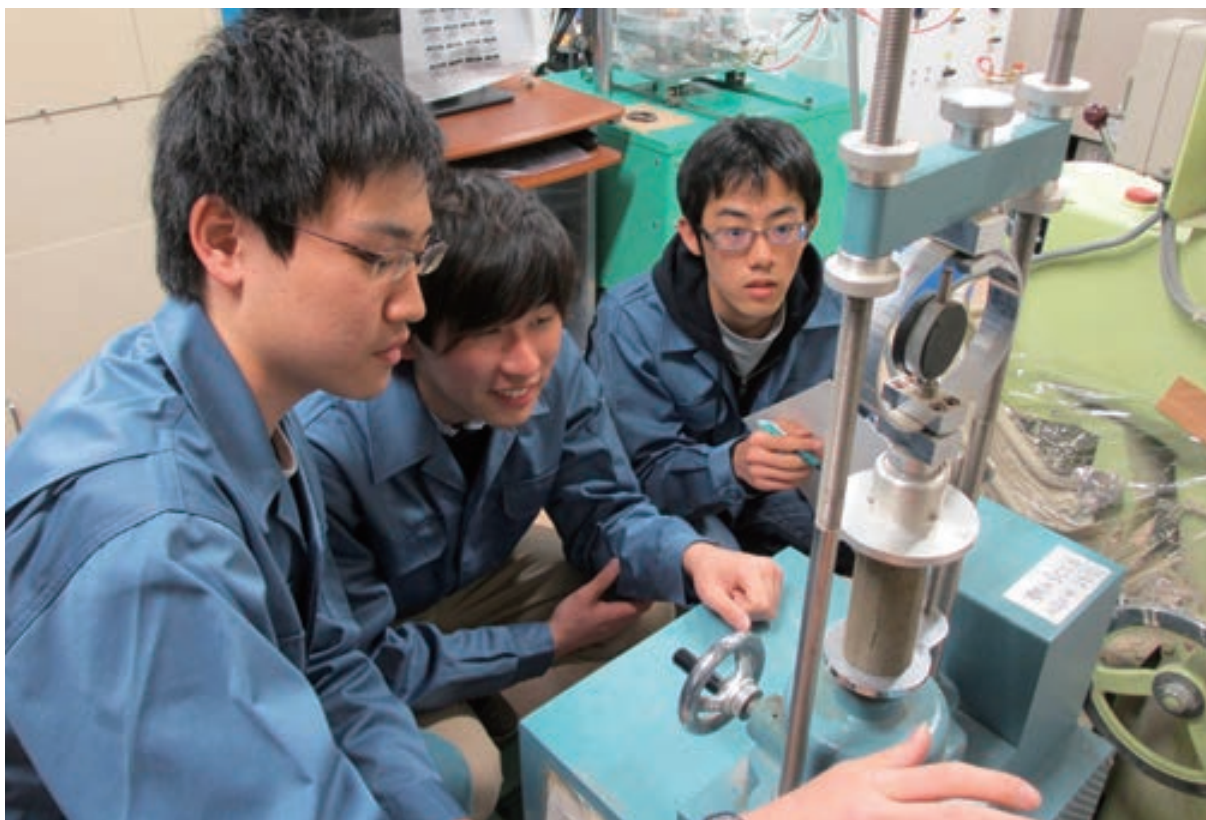
Department of Civil
Engineering

土木技術は、自然環境に深く関わって発展してきましたが、人間活動にとっての「利便性」や「機能性」を重視する傾向にありました。その結果、あまりにも急激な都市への人口集中などから水質汚染や大気汚染を引き起こし、環境問題は地球温暖化や酸性雨といった地球規模にまで拡大しています。人間が快適で豊かに生活していくためには、自然環境と人類が共生する社会の創成が必要不可欠です。

環境都市工学科では、従来の土木技術を基礎としつつも、地球環境に関する正しい知識と視点を持ち、自然と調和した新しい都市や環境を創造することのできる技術者の養成を目標としています。

The development of civil engineering has been making our environment more functional, practical and convenient. On the other hand, it has facilitated a rapid concentration of population in urban areas and some severe environmental problems. We are educating our students to become civil engineers with a thorough knowledge of the global environment and to have a "nature-friendly" attitude as they create cities and protect the environment.

職名 Title	学位 Degree	氏名 Name	主たる担当科目 Main Subjects	
教 授 Professor	博士(工学) Dr. Eng.	宮 腰 和 弘 MIYAKOSHI,Kazuhiro	都市計画 交通工学	Urban Planning Traffic Engineering
	博士(工学) Dr. Eng.	荒 木 信 夫 ARAKI,Nobuo	水環境 環境工学	Water Environment Environmental Engineering
	博士(工学) Dr. Eng.	岩 波 基 IWANAMI,Motoi	地盤工学 都市構造物施工学	Geo Mechanics Structure Febrication Technology of Civil Engineering
准教授 Associate Professor	博士(学術) Dr. D.	田 中 一 浩 TANAKA,Kazuhiro	水化学 衛生工学	Water Chemistry Sanitation Engineering
	博士(工学) Dr. Eng.	井 林 康 IBAYASHI,Kou	構造力学 環境都市工学設計	Structual Mechanics Civil Engineering Design
	博士(工学) Dr. Eng.	衛 藤 俊 彦 ETO,Toshihiko	水理学 河川水理学	Hydraulics River Hydraulics
	博士(工学) Dr. Eng.	村 上 祐 貴 MURAKAMI,Yuki	建設材料 鉄筋コンクリート工学	Construction Materials Reinforced Concrete Engineering
	博士(工学) Dr. Eng.	山 本 隆 広 YAMAMOTO,Takahiro	地球と環境 大気水圏環境科学	Earth and Environment Hydrospheric Atomsheric Science
	博士(工学) Dr. Eng.	宮 寄 靖 大 MIYAZAKI,Yasuhiro	環境都市工学設計製図 情報処理	Civil Engineering Design and Drawing Information Processing
助 教 Assistant Professor	博士(環境学) Dr. Env.	押 木 守 OSHIKI,Mamoru	環境工学 環境微生物学	Environmental Engineering Environmental Microbiology
特任教授 Specially appointed Professor	工学博士 Dr. Eng.	塩 野 計 司 SHIONO,Keishi	構造力学 防災計画	Structuai Mechanics Disaster Reduction Planning



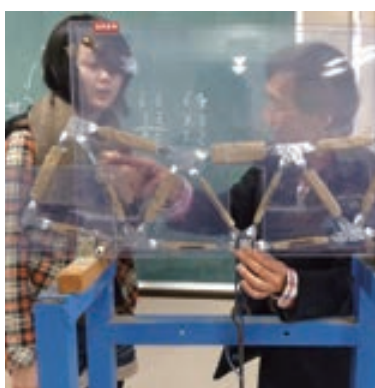
土質実験 (4 学年)
Soil Engineering Experiment (4th grade)



コンクリート実験 (4 学年)
Concrete Engineering Experiment (4th grade)



現場見学 (3 学年)
Advanced Factory Training (3rd grade)



耐荷重コンテスト (1 学年)
Bridges (1th grade)



水環境工学実験 (5 学年)
Water Engineering Experiment (5th grade)



測量実習 (3・4 学年)
Survey Training (3,4th grade)

教育課程表 *Curriculum*

一般科目（各学科共通）

General Education (Common Departments)

授 業 科 目	Subjects	単位数 Credits	学年別配分 Number of Credits by Grades					備考 Notes
			1 年 1st	2 年 2nd	3 年 3rd	4 年 4th	5 年 5th	
必修科目 Required Subjects	国語	Japanese	9	3	3	2	1	
	歴史	History	4	2	2			
	現代社会	Introduction to Social Sciences	4	2	2			
	基礎数学A	Mathematics A	3	3				
	基礎数学B	Mathematics B	3	3				
	課題数学	Exercises in Mathematics	1	1				
	基礎数学C	Mathematics C	2		2			
	微分積分Ⅰ	Differential and Integral Calculus I	2		2			
	代数幾何	Algebra and Geometry	2		2			
	微分積分Ⅱ	Differential and Integral Calculus II	2		2			
	確率	Probability	1		1			
	統計学	Statistics	1			1		
	物理	Physics	5		2	3		
	物理演習	Exercises in Physics	1		1			
	化学	Chemistry	5	3	2			
	生物	Biology	2	2				
	保健・体育	Physical Education	9	2	2	2	2	1
	英語ⅠA	English I A	2	2				
	英語ⅠB	English I B	2	2				
	英語ⅡA	English II A	3		3			
	英語ⅡB	English II B	3		2			
	英語ⅢA	English III A	2		2			
	英語ⅢB	English III B	2		2			
	英語演習	English Practice	2			2		
	科学英語	Scientific English	2			2		
	オール・コミュニケーション	English Conversation	3	1	1	1		
	音楽	Music	2	2				
	美術	Art	2	2				(a)
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	81	30	25	16	8	1
選択科目 Elective Subjects	地学	Geology	1			1		(a)
	生物学	Biology	1			1		
	法学	Jurisprudence	1			1		
	歴史学Ⅰ	History I	1			1		(a)
	社会学	Sociology	1			1		
	文学Ⅰ	Literature I	1			1		
	経済学A	Economics A	1				1	
	経済学B	Economics B	1				1	
	哲学A	Philosophy A	1				1	
	哲学B	Philosophy B	1				1	
	歴史学ⅡA	History II A	1				1	(b)
	歴史学ⅡB	History II B	1				1	
	文学ⅡA	Literature II A	1				1	
	文学ⅡB	Literature II B	1				1	
	コミュニケーション特講	English Communication	2			2		
	独語Ⅰ	German I	2			2		
	英語(A)	English A	2				2	(a)
	英語(B)	English B	2				2	
	英語(C)	English C	2				2	
	独語Ⅱ	German II	2				2	
	中国語	Chinese	2				2	(a)
	韓国語	Korean	2				2	
	英語特講(A)	Advanced English Communication (A)	2				2	
	英語特講(B)	Advanced English Communication (B)	2				2	
	技術科学フロンティア概論	Introduction to Technology and Science Frontier	2			2		(c)
	国際関係学演習	Seminar: International Affairs and Communication	1~3		1~3			(d)
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	36			12	26	(e)
	開設単位合計	Total Number of Credits Offered	116	30	25	16	20	27
修得単位数合計	Total Number of Credits Required	78 以上	28	25	16	8 以上	1 以上	
特別活動	Special Activities	3	1	1	1			

(a) : いずれか 1 科目を選択する Either/any one of the subjects

(b) : いずれかの組み合わせで 2 科目選択

(c) : 4 学年、5 学年で受講可能

(d) : 進級・卒業単位にならない

: 1 学年から 5 学年まで受講可能

(e) : 「国際関係学演習」は計に含めない

機械工学科

Department of Mechanical Engineering

授 業 科 目	Subjects	単位数 Credits	学年別配分 Number of Credits by Grades					備考 Notes
			1 年 1st	2 年 2nd	3 年 3rd	4 年 4th	5 年 5th	
必修科目 Required Subjects	機械工学実験実習	Experiments in Mechanical Engineering	10.5	3	3	1.5	3	
	卒業研究	Graduation Research	8				8	
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	18.5	3	3	1.5	3	8
必修科目 Required Subjects	応用数学ⅠA	Applied Mathematics ⅠA	1			1		
	応用数学ⅠB	Applied Mathematics ⅠB	1			1		
	応用数学ⅡA	Applied Mathematics ⅡA	1				1	
	物理学ⅠA	Physics ⅠA	1			1		
	物理学ⅠB	Physics ⅠB	1			1		
	物理学ⅡA	Physics ⅡA	1				1	
	物理学実験	Experiments in Physics	1.5			1.5		
	科学技術英語Ⅰ	English for Science and Technology Ⅰ	1			1		
	科学技術英語Ⅱ	English for Science and Technology Ⅱ	1				1	
	機械基礎演習	Exercises in Mathematics for Mechanical Engineering	1	1				
	機械工学概論	Introduction to Mechanical Engineering	1	1				
	総合製作	Creative Design and Manufacture	4		4			
	初等力学A	Elementary Dynamics A	1		1			
	初等力学B	Elementary Dynamics B	1		1			
	材料科学Ⅰ	Materials Science Ⅰ	1		1			
	材料科学Ⅱ	Materials Science Ⅱ	2			2		※
	材料力学ⅠA	Strength of Materials ⅠA	1			1		
	材料力学ⅠB	Strength of Materials ⅠB	2			2		※
	熱力学A	Thermodynamics A	1			1		
	熱力学B	Thermodynamics B	2			2		※
	流体力学ⅠA	Fluid Dynamics ⅠA	1			1		
	流体力学ⅠB	Fluid Dynamics ⅠB	2			2		※
	機械力学	Dynamics of Mechanical Engineering	2				2	※
	計測工学	Instrumentation and Measurement	2		2			
	制御工学A	Control Engineering A	1			1		
	制御工学B	Control Engineering B	2			2		※
	機械工作法	Manufacturing Processes and Systems	2	2				
	機構学	Mechanism	1		1			
	機械要素	Machine Elements	1		1			
	機械設計学	Mechanical Design and Engineering	2			2		※
	設計製図	Mechanical Design and Drawing	5	2	3			
	電気回路	Electric Circuits	2		2			
	基礎情報処理	Computer Literacy	2	2				
	情報処理	Computer Programming	2	2				
	情報処理演習	Exercises in Computer Programming	1		1			
	論文輪講	Practical English for Science and Engineering	2				2	※
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	56.5	4	6	17	22.5	7
選択科目 Elective Subjects	応用数学ⅡB	Applied Mathematics ⅡB	1				1	
	物理学ⅡB	Physics ⅡB	1				1	
	材料組織学	Structure of Solids	1			1		
	材料強度学	Mechanical Behavior of Materials	1				1	
	材料力学Ⅱ	Strength of Materials Ⅱ	1				1	
	伝熱工学	Heat Transfer	1				1	
	流体力学Ⅱ	Fluid Dynamics Ⅱ	1				1	
	設計演習	Practice for Mechanical Design	1.5			1.5		
	CAD/CAE	Computer Aided Design and Engineering	1.5				1.5	
	メカトロニクス	Mechatronics	1				1	
	精密加工	Precision Manufacturing Technology	1				1	
	電子回路Ⅰ	Electronic Circuits Ⅰ	1			1		
	電子回路Ⅱ	Electronic Circuits Ⅱ	1				1	
	数値解析法	Numerical Analysis	1				1	
	機械基礎工学	Fundamentals of Mechanical Engineering	1			1		
	企業実習Ⅰ	Internship Ⅰ	1			1		(a)
	企業実習Ⅱ	Internship Ⅱ	2			2		
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	19			7.5	11.5	
	開設単位合計	Total Number of Credits Offered	94	7	9	18.5	33	26.5
修得単位数合計		Total Number of Credits Required	82 以上	7	9	18.5	27.5 以上	20 以上

備考欄に※のある科目：1単位あたり、15時間の講義と30時間の自学自習を必要とする「学修単位科目」

それ以外の科目：30単位時間の履修をもって1単位とする「履修単位科目」

(a)：いずれか1科目を選択する Either/any one of the subjects

電気電子システム工学科

Department of Electrical and Electronic Systems Engineering

授業科目	Subjects	単位数 Credits	学年別配分 Number of Credits by Grades					備考 Notes
			1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
必修科目 Required Subjects	ものづくり技術実習Ⅰ	Training of Manufacturing I	2	2				
	ものづくり技術実習Ⅱ	Training of Manufacturing II	3	3				
	電気電子システム工学実験Ⅰ	Experiments in Electric Engineering I	4		4			
	電気電子システム工学実験Ⅱ	Experiments in Electric Engineering II	4			4		
	電気電子システム工学実験Ⅲ	Experiments in Electric Engineering III	2				2	
	創造研究	Extra Electrical Engineering Laboratory	1			1		
	卒業研究	Graduation Research	8				8	
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	24	2	3	4	5	10
必修科目 Required Subjects	応用数学ⅠA	Applied Mathematics I A	1			1		
	応用数学ⅠB	Applied Mathematics I B	1			1		
	応用数学ⅡA	Applied Mathematics II A	1				1	
	物理学ⅠA	Physics I A	1			1		
	物理学ⅠB	Physics I B	1			1		
	物理学ⅡA	Physics II A	1				1	
	物理学実験	Experiments in Physics	1.5			1.5		
	電気電子工学基礎	Electrical Fundamentals	1	1				
	電気電子理論Ⅰ	Electrical Theory I	2	2				
	電気電子理論Ⅱ	Electrical Theory II	2		2			
	電気電子理論演習Ⅰ	Exercises in Electrical Theory I	2	2				
	電気電子理論演習Ⅱ	Exercises in Electrical Theory II	4		4			
	基礎情報処理	Computer Literacy	2	2				
	プログラミング	Computer Programming	2	2				
	プログラミング演習	Exercises in Computer Programming	2		2			
	電子計算機	Computer Engineering	2		2			
	システム基礎	Fundamentals of System Integration	1		1			
	電気電子計測	Electrical Measurements	2		2			
	電気回路Ⅰ	Electric Circuits I	2		2			
	電気回路ⅡA	Electric Circuits II A	1			1		
	電気回路ⅡB	Electric Circuits II B	1			1		
	電子回路A	Electronic Circuits A	1			1		
	電子回路B	Electronic Circuits B	1			1		
	デジタル回路A	Digital Circuits A	1				1	
	電磁気学A	Electromagnetism A	1			1		
	電磁気学B	Electromagnetism B	1			1		
	光波工学A	Electromagnetic Wave Engineering A	1				1	
	応用プログラミングⅠ	Applied Computer Programming I	2			2		※
	科学技術英語Ⅰ	English for Science and Technology I	1			1		
	科学技術英語Ⅱ	English for Science and Technology II	1				1	
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	43.5	3	6	15	14.5	5
選択科目 Elective Subjects	応用数学ⅡB	Applied Mathematics II B	1				1	
	物理学ⅡB	Physics II B	1				1	
	応用プログラミングⅡ	Applied Computer Programming II	2				2	※
	デジタル信号処理	Digital Signal Processing	2			2		※
	電気電子材料A	Electrical Materials A	1			1		
	電気電子材料B	Electrical Materials B	1			1		
	電気機器A	Electrical Machinery A	1			1		
	電気機器B	Electrical Machinery B	1			1		
	電力システム工学	Systems Engineering of Electrical Power	2			2		※
	電気法規ならびに施設管理	Law of Electric and Facilities Management	1			1		
	企業実習Ⅰ	Factory Training I	1			1		(a)
	企業実習Ⅱ	Factory Training II	2			2		
	電気電子応用工学	Applied Electrical Engineering	2				2	※
	電子デバイス	Electronic Devices	2				2	※
	計算機システム	Computer Systems	2				2	※
	通信工学A	Communication Engineering A	1				1	
	通信工学B	Communication Engineering B	1				1	
	システム制御工学A	System and Control Engineering A	1				1	
	システム制御工学B	System and Control Engineering B	1				1	
	デジタル回路B	Digital Circuits B	1				1	
	光波工学B	Electromagnetic Wave Engineering B	1				1	
	パワーエレクトロニクス	Power Electronics	2				2	※
	エネルギー工学	Energy Engineering	2				2	※
	電気電子設計	Electrical Design and Drawing	2				2	※
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	34			12	22	
	開設単位合計	Total Number of Credits Offered	101.5	5	9	19	31.5	37
修得単位数合計		Total Number of Credits Required	82 以上	5	9	19	23 以上	26 以上

備考欄に※のある科目：1単位あたり、15時間の講義と30時間の自学自習を必要とする「学修単位科目」

それ以外の科目：30単位時間の履修をもって1単位とする「履修単位科目」

(a)：いずれか1科目を選択する Either/any one of the subjects

電子制御工学科

Department of Electronic Control Engineering

	授業科目	Subjects	単位数 Credits	学年別配分 Number of Credits by Grades					備考 Notes
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
必修科目 Required Subjects	電子制御工学実験Ⅰ	Experiments in Electronic Control Engineering I	3	3					
	電子制御工学実験Ⅱ	Experiments in Electronic Control Engineering II	3		3				
	電子制御工学実験Ⅲ	Experiments in Electronic Control Engineering III	4			4			
	電子制御工学実験Ⅳ	Experiments in Electronic Control Engineering IV	4				4		
	卒業研究	Graduation Research	10					10	
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	24	3	3	4	4	10	
必修科目 Required Subjects	数理解習Ⅰ	Exercises in Elementary Mathematics I	1	1					
	数理解習Ⅱ	Exercises in Elementary Mathematics II	1		1				
	応用数学ⅠA	Applied Mathematics IA	1				1		
	応用数学ⅠB	Applied Mathematics IB	1				1		
	応用数学ⅡA	Applied Mathematics IIA	1					1	
	物理学ⅠA	Physics IA	1				1		
	物理学ⅠB	Physics IB	1				1		
	物理学ⅡA	Physics IIA	1					1	
	物理学実験	Experiments in Physics	1.5				1.5		
	基礎情報処理	Fundamentals of information Processing	2	2					
	情報処理	Information Processing	2		2				
	計算機システム	Computer System	2			2			
	制御工学A	Control Engineering A	2				2		※
	制御工学B	Control Engineering B	2				2		※
	工業数学A	Engineering Mathematics A	1			1			
	工業数学B	Engineering Mathematics B	1			1			
	計測システム工学	Engineering in Measurement System	2					2	※
	基礎力学	Fundamentals of Mechanics in Physics	1			1			
	機械力学Ⅰ	Mechanics I	1			1			
	機械力学Ⅱ	Mechanics II	1				1		
	デジタル工学基礎	Fundamentals of Digital Engineering	2		2				
	デジタル論理回路	Digital Logic Circuits	2			2			
	機械創造学ⅠA	Engineering in Mechanical Designing IA	1	1					
	機械創造学ⅠB	Engineering in Mechanical Designing IB	1	1					
	機械創造学Ⅱ	Engineering in Mechanical Designing II	1		1				
	メカトロニクスA	Mechatronics A	1			1			
	メカトロニクスB	Mechatronics B	1			1			
	電気電子基礎	Fundamentals of Electricity and Electronics	1		1				
	電気回路Ⅰ	Electric Circuits I	2			2			
	電気回路ⅡA	Electric Circuits II A	1				1		
	電気回路ⅡB	Electric Circuits II B	2				2		※
	電子回路ⅠA	Electronic Circuits IA	1			1			
	電子回路ⅠB	Electronic Circuits IB	1			1			
	電子回路Ⅱ	Electronic Circuits II	2				2		※
	電磁気学ⅠA	Electromagnetics IA	1			1			
	電磁気学ⅠB	Electromagnetics IB	1			1			
	電磁気学ⅡA	Electromagnetics IIA	1				1		
	電磁気学ⅡB	Electromagnetics IIB	1				1		
	科学技術英語Ⅰ	English for Science and Technology I	1				1		
	科学技術英語Ⅱ	English for Science and Technology II	1					1	
	電子制御ゼミナール	Seminar	1				1		
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	52.5	5	7	16	19.5	5	
選択科目 Elective Subjects	応用数学ⅡB	Applied Mathematics IIB	1					1	
	物理学ⅡB	Physics IIB	1					1	
	プログラミング演習Ⅰ	Exercise in Programming I	1			1			(a)
	プログラミング演習Ⅱ	Exercise in Programming II	1			1			
	電子デバイス工学	Electronic Devices	1					1	
	線形制御	Linear Control Engineering	2					2	※
	計算機援用設計	Computer Aided Design	1					1	
	センサー工学	Sensor Engineering	2					2	※
	数値解析	Numerical Analysis	2				2		※
	アルゴリズムとデータ構造	Data Structures and Algorithms	1				1		
	ロボット工学	Robotics	2					2	※
	熱力学Ⅰ	Fundamentals of Thermodynamics I	1				1		
	熱力学Ⅱ	Fundamentals of Thermodynamics II	1					1	
	流体力学	Fundamentals of Fluid Mechanics	1				1		
	材料力学Ⅰ	Strength of Materials I	1				1		
	材料力学Ⅱ	Strength of Materials II	1					1	
	データ通信工学	Data Communication Engineering	1					1	
	コンピュータネットワーク	Computer Network	1					1	
	ネットワークプログラミング	Network Programming	2					2	※
	離散数学	Discrete Mathematics	1				1		
	プログラミング演習Ⅰ	Exercise of Programming I	1				1		
	プログラミング演習Ⅲ	Exercise of Programming III	1				1		
	プログラミング演習Ⅳ	Exercise of Programming IV	1					1	
	企業実習Ⅰ	Internship I	1				1		(a)
	企業実習Ⅱ	Internship II	2				2		
	電子制御基礎工学	Fundamentals in Electronic Control	1					1	
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	32			2	13	17	
	開設単位合計	Total Number of Credits Offered	108.5	8	10	22	36.5	32	
修得単位数合計			82 以上	8	10	20 以上	24.5 以上	19.5 以上	

備考欄に※のある科目：1単位あたり、15時間の講義と30時間の自学自習を必要とする「学修単位科目」

それ以外の科目：30単位時間の履修をもって1単位とする「履修単位科目」

(a)：いずれか1科目を選択する Either/any one of the subjects

物質工学科

Department of Materials Engineering

	授業科目	Subjects	単位数 Credits	学年別配分 Number of Credits by Grades					備考 Notes
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
必修科目共通 Common Subjects	創造実験	Training in Creative Research	2				2		
	材料化学実験	Experiments in Material Chemistry	4				4		(b)
	応用生物化学実験	Experiments in Applied Biochemistry	4				4		(c)
	物質工学実験	Experiments in Materials Engineering	12	1	2	5	2	2	
	卒業研究	Graduation Research	10					10	
必修科目 Required Subjects	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	32	1	2	5	12	12	
	応用数学ⅠA	Applied Mathematics ⅠA	1				1		
	応用数学ⅠB	Applied Mathematics ⅠB	1				1		
	応用数学Ⅱ	Applied Mathematics Ⅱ	2				1	1	
	物理学ⅠA	Physics ⅠA	1				1		
	物理学ⅠB	Physics ⅠB	1				1		
	物理学ⅡA	Physics ⅡA	1					1	
	物理学実験	Experiments in Physics	1.5				1.5		
	科学技術英語Ⅰ	English for Science and Technology Ⅰ	1				1		
	科学技術英語Ⅱ	English for Science and Technology Ⅱ	1					1	
	基礎情報処理	Computer Literacy	2	2					
	情報処理Ⅰ	Data Processing Ⅰ	1		1				
	情報処理Ⅱ	Data Processing Ⅱ	1			1			
	情報処理Ⅲ	Data Processing Ⅲ	1				1		
	物質工学概論	Introduction to Materials Engineering	2	2					
	分析化学	Analytical Chemistry	2		2				
	基礎工学演習Ⅰ	Exercises in Basic Engineering Ⅰ	1		1				
	基礎工学演習Ⅱ	Exercises in Basic Engineering Ⅱ	1		1				
	基礎工学演習Ⅲ	Exercises in Basic Engineering Ⅲ	1			1			
	基礎工学演習Ⅳ	Exercises in Basic Engineering Ⅳ	1			1			
	無機化学ⅠA	Inorganic Chemistry ⅠA	2			2			
	無機化学ⅠB	Inorganic Chemistry ⅠB	1			1			
	無機化学Ⅱ	Inorganic Chemistry Ⅱ	2				2		※
	有機化学ⅠA	Organic Chemistry ⅠA	2			2			
	有機化学ⅠB	Organic Chemistry ⅠB	1			1			
	有機化学Ⅱ	Organic Chemistry Ⅱ	2				2		※
	物理化学Ⅰ	Physical Chemistry Ⅰ	2			2			
	物理化学Ⅱ	Physical Chemistry Ⅱ	2				2		※
	化学工学Ⅰ	Chemical Engineering Ⅰ	2				2		※
	化学工学Ⅱ	Chemical Engineering Ⅱ	2					2	※
	基礎生物工学	Basic Biotechnology	2		2				
	生物化学Ⅰ	Biological Chemistry Ⅰ	2			2			
	生物化学Ⅱ	Biological Chemistry Ⅱ	1				1		
	反応工学	Reactor Design	2					2	※
	高分子化学	Polymer Science	1				1		
	機器分析	Instrumental Analysis	2				2		※
	化学システム制御	System Control in Chemistry	1					1	
	食品化学	Food Science	1					1	
	論文輪講	Colloquium	1					1	
	レポート作成法	Technical Writing	1	1					
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	55.5	5	7	13	20.5	10	
コース必修科目 Course Required Subjects	材料工学	Materials Engineering Course							
	材料物理化学	Materials Physical Chemistry	1					1	
	無機材料工学	Inorganic Materials Engineering	1				1		
	有機プロセス化学	Organic Process Chemistry	1					1	
	高分子物性	Polymer Physical Property	1				1		
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	4				2	2	
	生物応用	Applied Biochemistry Course							
	分子生物学	Molecular Biology	1				1		
	応用微生物学	Applied Microbiology	1				1		
	生物有機化学	Bioorganic Chemistry	1					1	
	生体触媒工学	Biocatalysis	1					1	
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	4				2	2	
選択科目共通 Elective Common Subjects	物理学ⅡB	Physics ⅡB	1					1	
	企業実習Ⅰ	Internship Ⅰ	1				1		
	企業実習Ⅱ	Internship Ⅱ	2				2		(a)
	化学基礎工学Ⅰ	Chemical Fundamentals Ⅰ	1				1		
	化学基礎工学Ⅱ	Chemical Fundamentals Ⅱ	1				1		
	構造解析学Ⅰ	Structural Analysis in Organic Chemistry Ⅰ	1					1	
	構造解析学Ⅱ	Structural Analysis in Inorganic Chemistry Ⅱ	1					1	
	食品製造工学	Engineering of Food Processing	1					1	
	環境化学	Environmental Chemistry	1					1	
	品質管理	Quality Control	1					1	
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	11				5	6	
	開設単位合計	Total Number of Credits Offered	106.5	6	9	18	41.5	32	
修得単位数合計		Total Number of Credits Required	82以上	6	9	18	30.5以上	24以上	

備考欄に※のある科目：1単位あたり、15時間の講義と30時間の自学自習を必要とする「学修単位科目」

それ以外の科目：30単位時間の履修をもって1単位とする「履修単位科目」

(a)：いずれか1科目を選択する Either/any one of the subjects (b)：材料工学コース (c)：生物応用コース

環境都市工学科

Department of Civil Engineering

	授業科目	Subjects	単位数 Credits	学年別配分 Number of Credits by Grades					備考 Notes
				1年 1st	2年 2nd	3年 3rd	4年 4th	5年 5th	
必修科目 Required Subjects	創造演習	Production Experiences	2		2				
	環境都市工学の基礎 (1)	Introductory Civil Engineering I	1		1				
	環境都市工学の基礎 (2)	Introductory Civil Engineering II	2		2				
	測量学実習 (1)	Survey Training I	2			2			
	測量学実習 (2)	Survey Training II	1				1		
	環境都市工学設計製図	Civil Engineering Design and Drawing	2				2		
	環境都市工学設計	Civil Engineering Design	2					2	※
	環境都市工学演習 (2)	Civil Engineering Exercises II	1				1		
	環境都市工学実験 (1)	Civil Engineering Experiments I	2				2		
	環境都市工学実験 (2)	Civil Engineering Experiments II	2					2	
	卒業研究	Graduation Research	10					10	
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	27		5	2	6	14	
必修科目 Required Subjects	応用数学 IA	Applied Mathematics IA	1				1		
	応用数学 IB	Applied Mathematics IB	1				1		
	応用数学 IIA	Applied Mathematics IIA	1					1	
	物理学 IA	Physics IA	1				1		
	物理学 IB	Physics IB	1				1		
	物理学 IIA	Physics IIA	1					1	
	物理学実験	Experiments of Physics	1.5				1.5		
	科学技術英語 I	English for Science and Technology I	1				1		
	科学技術英語 II	English for Science and Technology II	1					1	
	環境都市概論	Introductory Civil Engineering	1	1					
	工学演習 (1)	Engineering Exercises I	1	1					
	基礎情報処理	Introductory Information Processing	2	2					
	地球と環境	Earth and Environment	1	1					
	強さと形	Strength and Configuration	1	1					
	工学演習 (2)	Engineering Exercises II	1		1				
	プログラミングの基礎 (1)	Fundamentals of Computer Programming I	1		1				
	プログラミングの基礎 (2)	Fundamentals of Computer Programming II	1		1				
	測量学 (1)	Surveying I	2		2				
	測量学 (2)	Surveying II	2						
	力学の基礎	Introductory Mechanics	2			2			
	建設材料	Construction Materials	2			2			
	水化学	Water Chemistry	1			1			
	水工学の基礎	Introductory Hydraulic Engineering	1			1			
	土の基礎	Introductory Soil Engineering	1			1			
	力学演習	Mechanics Exercises	1			1			
	環境都市工学製図	Civil Engineering Drawing	1			1			
	工学演習 (3)	Engineering Exercises III	1			1			
	計画学	Planning	1			1			
	環境都市工学演習 (1a)	Civil Engineering Exercises Ia	1			1			
	環境都市工学演習 (1b)	Civil Engineering Exercises Ib	1				1		
	地球科学	Global Science	1				1		
	水環境	Water Environment	1				1		
	衛生工学	Sanitary Engineering	1			1			
	鉄筋コンクリート工学 (1)	Reinforced Concrete Engineering I	1				1		
	鉄筋コンクリート工学 (2)	Reinforced Concrete Engineering II	1				1		
	都市計画 (1)	Urban Planning I	1				1		
	都市計画 (2)	Urban Planning II	1				1		
	水理学 (1)	Hydraulics I	2				2		※
	水理学 (2)	Hydraulics II	2				2		※
	構造力学 (1)	Structural Mechanics I	2				2		※
	構造力学 (2)	Structural Mechanics II	2				2		※
	地盤工学 (1)	Geo Mechanics I	2				2		※
	地盤工学 (2)	Geo Mechanics II	2				2		※
	防災計画十景観工学	Disaster Management and Landscape Engineering	1					1	
	環境工学	Environmental Engineering	2					2	※
	情報処理	Information Processing	2					2	※
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	59.5	6	5	15	25.5	8	
選択科目 Elective Subjects	応用数学 IIB	Applied Mathematics IIB	1					1	
	物理学 IIB	Physics IIB	1					1	
	企業実習 I	Factory Training I	1				1		(a)
	企業実習 II	Factory Training II	2				2		
	環境都市工学概論	Introduction to Civil Engineering	1				1		
	建設マネージメント	Construction Management	2					2	
	建築学概論	Introduction to Civil Architecture	1					1	
	河川水理学	River Hydraulics	1					1	
	交通工学	Traffic Engineering	1					1	
	応用測量学	Applied Surveying	1					1	
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	12				4	8	
	開設単位合計	Total Number of Credits Offered	98.5	6	10	17	35.5	30	
修得単位数合計			82 以上	6	10	17	31.5 以上	22 以上	

備考欄に※のある科目：1単位あたり、15時間の講義と30時間の自学自習を必要とする「学修単位科目」

それ以外の科目：30単位時間の履修をもって1単位とする「履修単位科目」

(a)：いずれか1科目を選択する Either/any one of the subjects

専攻科紹介 *Advanced Courses for Bachelor Degrees in Engineering*

今日の工業界は、科学技術の急速な高度化のもとで、高い技術のみならず、問題の発見と解決ができる研究・開発能力を備えた実践的専門技術者を求めています。専攻科は、このような社会的要求に応え、学科での5年間の教育を基礎として、さらに2年間のより高度な実践的・創造的な教育を行うために、平成4年以来、各地の工業高等専門学校に設置されてきました。

本校の専攻科は平成12年4月に、電子機械システム工学、物質工学、環境都市工学の3専攻で設置され、各専攻の入学定員を12名、4名、4名として運営されています。

専攻科を修了する者は、国の機関（大学評価・学位授与機構）の審査を経て学士（工学）の学位を取得します。学位を授与された修了者が就職する場合には、大学卒業者と同じ待遇を受け、学士の授与が見込まれる修了予定者が進学を希望する場合には、大学院修士課程（博士課程前期）の受験資格が得られます。

A new type of specialized engineer is wanted by today's industrial society. These engineers must be capable of tasks in research and development, where they have to find and solve problems by themselves, in addition to knowing traditional engineering practices. Responding to this social need, many engineering colleges have been establishing Advanced Courses since 1992. These are two-year-courses for graduates from the regular five-year programs of college education.

Nagaoka National College of Technology established advanced courses in Electrical and Mechanical Engineering, Materials Engineering, and Civil Engineering in April 2000. Every year the advanced engineering courses accept 20 students. The Electrical and Mechanical Engineering course accepts 12 students, and the Materials Engineering and Civil Engineering courses accept 4 students respectively.

Graduates from the Advanced Course are granted Bachelor Degrees in Engineering by NIAD-UE (the National Institution for Academic Degrees and University Evaluation) based on report work and examinations.

電子機械システム 工学専攻

Electrical & Mechanical Systems
Engineering Advanced Course

電気工学、機械工学は、生産分野における基礎的、中心的役割を果たしています。それらの境界領域に位置する電子制御工学は、電子・電気機器を制御し、自動化することによってその付加価値を高める分野といつてよいでしょう。

21世紀において技術開発を推進し、ささえてゆくためには、技術者はそれぞれの各分野の専門性を、より深く追求する一方において、他分野の知識・技術を修得し、また互いに融合・展開することによって新しい技術開発を積極的に進めて行かねばなりません。

電子機械システム工学専攻は、複合的な分野における問題発見・解決能力を高め、社会の技術革新に対応できる創造性豊かな技術者の育成を目指しています。そのために、電気系、機械系および電子制御系の専門分野を基礎とし、さらに高度な専門科目や、それぞれの分野を融合した境界領域科目、特別実験や特別研究などの教育プログラムを実施しています。

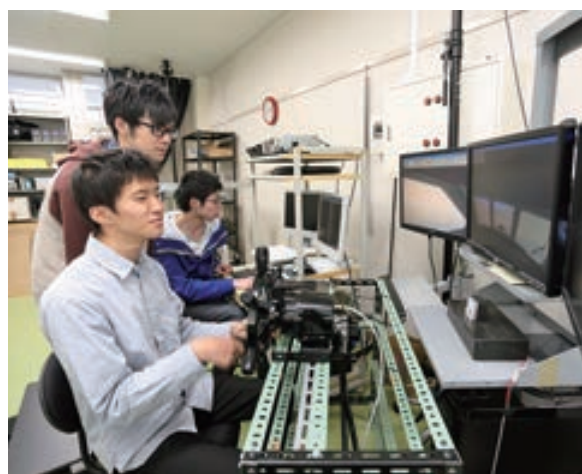
Today's electronic control engineers need an eclectic knowledge of mechanics, electronics and computers if they are to be successful in designing, producing and developing advanced industrial products, electric products, cars, and computers. The Department of Electronic Control Engineering trains and educates students to become engineers who will work actively in various areas of design, production and development of many advanced industrial products. The curriculum of the department, which is open to all students, consists of programs that deal with the following : Measurement Technology, Control Engineering, Mechanics, Electronics and Computer Science. The programs include many basic subjects which relate to Mathematics, Physics, and Information Processing.



極低加速電圧 SEM による材料評価
Analysis by Ultra Low Vaco Type FE-SEM



異材混合物材料を用いた三次元造型加工
3D Forming Process with Mixture of Different Materials



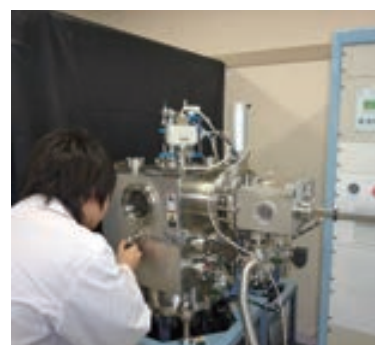
簡易操船シミュレータを用いた小型船舶の操作性評価
Usability Evaluation of Pleasure Boats with Simplified Ship Simulator



自動車用走行シミュレータを用いた運動特性の評価
Evaluation of Car Motion Characteristics with Driving Simulator



フォトポリマーを用いたホログラム記録実験
Experiment of holographic recording using photopolymer films



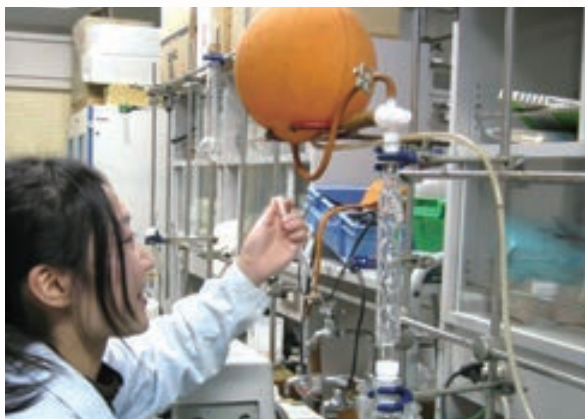
モバイル端末ディスプレイ向け有機 EL 素子の作製実験
Development of OLED Device for Mobile Terminal's Display

物質工学専攻

Materials Engineering Advanced
Course

環境意識の高まりの中で、社会のニーズは環境負荷の低減や再資源化を前提とした製品の製造プロセスの開発・設計へと移り変わってきています。産業発展の基礎として重要な新素材開発分野では、化学の専門に加えた分野の知識と技術が必要とされてきています。物質工学専攻では、物質工学科の材料工学コース及び生物応用コースで習得した学力を基礎として、新しい材料の開発と生産に関する材料工学及び生物機能を物質生産に応用する分野の生物工学について深く学びます。これらの専門的知識を高めることにより、機能性新素材の開発や製造プロセス技術の展開に対応できる実践的技術者の養成を行います。

In the increase of the environment consciousness, social needs shift to development and design of the manufacturing process of the product assuming the low environmental loading and the resource recycling. Knowledge and technology of the wide field are required in addition to the speciality of the chemistry in important new material development field as a base of the industry development. In the Material Engineering Advanced Course, students will study deeply the field of material engineering on development and production of the new material and the field of biotechnology which applies the biofunction to substance production on the basis of the scholarship acquired in materials engineering course and applied biochemistry course of the department of materials engineering. By raising these technical knowledge, the practical engineer who can deal with development of the functional new material and development of the manufacturing process technology is trained.



有機合成反応
Organic Synthesis Reaction



水熱合成反応
Hydrothermal Synthesis



超伝導核磁気共鳴装置
Superconductive nuclear magnetic resonance



専攻科特別研究発表会（2年、口頭発表）
Research report association of advanced Course (Oral session)

環境都市工学専攻

Civil Engineering
Advanced Course

環境都市工学専攻では、高等専門学校や短期大学で土木工学・環境工学及び都市工学を専攻した学生並びに社会人を主な対象とし、それらの分野における基礎と応用をより深く修得させます。

授業を開設する領域は、都市や交通施設の計画と建設、都市構造物の素材開発と施工法、大気・水・土壌の環境工学的評価、雪氷害・震害・水害に対する防災対策、微生物学・衛生工学の環境・エネルギー問題への応用及び材料学・水理学・地盤工学・計画学などの基礎科目に広がっています。

The Advanced Course of Civil Engineering provides the graduates of Civil, Environmental, and Urban Engineering Departments with opportunities for further in-depth learning, both fundamental and applied, in these disciplines. Courses are offered in a wide range of subjects covering : the planning and construction of urban and transportation infrastructures ; development of material and construction practices for civil structure ; environmental evaluation and improvement of air, water and earth quality ; disaster management for protection against snow and ice, earthquakes, and floods ; microbiological and water treatment engineering applications specific to environmental and energy issues ; and, advanced theories and techniques in material and geotechnical engineering, hydraulics and planning.



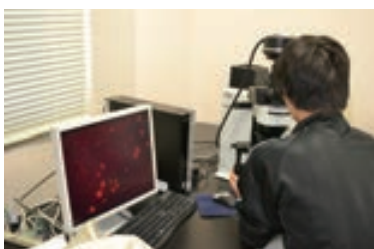
鉄筋コンクリートの載荷実験
Reinforced Concrete Loading Experiment



橋梁の概略点検
Inspection of Existing Bridge



マイクロスコープによる供試体表面計測
Measurement of the specimen surface using a microscope



微生物の蛍光染色観測
Observation of Bacteria Detected with Fluorescent Staining



タブレット端末を使った橋梁点検システムの開発
Development of Bridge Inspection System with Tablet PC



専攻科発表会
Research Report Association of Advanced Course

専攻科教育課程表 *Advanced Course Curriculum*

一般科目・専門共通科目（各専攻共通） *General Subjects & Special Subjects (Common Advanced Courses)*

授 業 科 目			Subjects	単位数 Credits	備考 Notes
一般科目 General Subjects	必修科目 Required Subjects	科学哲学	Philosophy of Science	2	
		地域産業と技術	Local Industries and Technology	2	
		開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	4	
		修得単位数	Number of Credits Required	4	
	選択科目 Elective Subjects	一類	実用英語	2	
			総合英語	2	
			開設単位小計	4	
			修得単位数	2 以上	
		二類	東アジア地域論	2	
			日本語文化	2	並列開講
			欧米文化論	2	並列開講
			開設単位小計	6	
専門共通科目 Special Subjects	必修科目 Required Subjects	修得単位数	Number of Credits Required	2 以上	
		生産システム工学	Manufacturing Systems Engineering	2	
		シミュレーション工学	Numerical Simulation	2	
		大気水圏環境科学	Hydrospheric-Atmospheric Science	2	
		環境エネルギー工学	Environmental and Energy Engineering	2	
		学外実習	Advanced Factory Training	2	
		開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	10	
		修得単位数	Number of Credits Required	10	
	選択科目 Elective Subjects	発明工学	Invention Engineering	2	※
		応用解析	Applied Analysis	2	
		応用代数	Applied Algebra	2	
		量子物理	Quantum Physics	2	
		物理工学	Physical Engineering	2	
		システム情報工学	Advanced information Systems	2	
		生命科学	Life Science	2	
		開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	14	
		修得単位数	Number of Credits Required	4 以上	
		修得単位数合計	Total Number of Credits Required	22 以上	

※選択科目の「地震防災計画学」を修得しない場合、「発明工学」を修得しなければならない。

電子機械システム工学専攻 *Electrical & Mechanical Systems Engineering Advanced Course*

授 業 科 目		Subjects	単位数 Credits	備 考 Notes
必修科目 Required Subjects	電子機械システム工学特別研究Ⅰ	Thesis WorkⅠ	4	
	電子機械システム工学特別研究Ⅱ	Thesis WorkⅡ	10	
	電子機械システム工学特別実験	Advanced Experiments	2	
	専攻科ゼミナール	Advanced Seminars	2	
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	18	
選択科目 Elective Subjects	計測システム	Measurement Technology	2	
	レーザ応用工学	Applied Laser Engineering	2	
	電子物性工学	Physical Properties of Electrical Materials	2	
	半導体デバイス	Semiconductor Devices	2	
	信号理論	Signal Theory	2	
	固体力学概論	Introduction to Solid Mechanics	2	
	材料設計工学	Engineering Materials	2	
	マイクロテクノロジー	Micro-Technology	2	
	レオロジー	Rheology	2	
	エネルギー変換工学	Energy Conversion Engineering	2	
	システムダイナミックス	System Dynamics	2	
	線形システム工学	Linear Control Systems Engineering	2	
	線形システム制御	Linear Control Systems	2	
	情報通信工学	Information and Communication Engineering	2	
	物性科学	Materials Science	2	
	オプトエレクトロニクス	Optical Electronics	2	
	超音波テクノロジー	Ultrasonic Technology	2	
	コンピュータビジョン	Computer Vision	2	
	地震防災計画学	Earthquake Disaster Reduction Planning	2	※
	電気回路論	Electric Circuit Theory	2	
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	40	
		開設単位合計	Total Number of Credits Offered	58

※専門共通科目の「発明工学」を修得しない場合、「地震防災計画学」を修得しなければならない。

物質工学専攻

Materials Engineering Advanced Course

授 業 科 目	Subjects	単位数 Credits	備考 Notes
必修科目 Required Subjects	物質工学特別研究Ⅰ	Thesis WorksⅠ	4
	物質工学特別研究Ⅱ	Thesis WorksⅡ	10
	物質工学特別実験	Advanced Experiments	2
	専攻科ゼミナール	Advanced Seminars	2
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	18
選択科目 Elective Subjects	固体構造化学	Solid-state Structural Chemistry	2
	応用有機化学	Applied Organic Chemistry	2
	生体物質化学	Chemistry of Biological Compounds	2
	輸送現象論	Transport Phenomena	2
	化学反応論	Chemical Reaction Principles	2
	食品機能化学	Physiologically Functional Food Chemistry	2
	遺伝子工学	Genetic Engineering	2
	機能性高分子科学	Functional Polymer Science	2
	応用電子化学	Applied Electronic Chemistry	2
	食品栄養学	Nutritional Chemistry	2
	生物工学	Biotechnology	2
	環境資源工学	Waste and Wastewater Management Technology	2
	酵素化学	Enzyme Chemistry	2
	溶液化学	Solution Chemistry	2
	物性化学	Materials Science	2
	地震防災計画学	Earthquake Disaster Reduction Planning	※
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	32
開設単位合計		Total Number of Credits Offered	50

※専門共通科目の「発明工学」を修得しない場合、「地震防災計画学」を修得しなければならない。

環境都市工学専攻

Civil Engineering Advanced Course

授 業 科 目	Subjects	単位数 Credits	備考 Notes
必修科目 Required Subjects	環境都市工学特別研究Ⅰ	Thesis WorksⅠ	4
	環境都市工学特別研究Ⅱ	Thesis WorksⅡ	10
	環境都市工学特別実験	Advanced Experiments	2
	専攻科ゼミナール	Advanced Seminars	2
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	18
選択科目 Elective Subjects	都市構造材料学	Advanced Structural Material Technology of Civil Engineering	2
	都市構造物施工学	Structure Fabrication Technology of Civil Engineering	2
	応用水理学	Applied Hydraulics	2
	環境資源循環工学	Waste and Wastewater Management Technology	2
	環境微生物工学	Biological Principles of Environmental Engineering Processes	2
	環境地盤工学	Environment Geo-Soil	2
	応用交通工学	Applied Traffic Engineering	2
	環境都市計画	Environmental Urban Planning	2
	地震防災計画学	Earthquake Disaster Reduction Planning	※
	災害情報工学	Disaster Information Technology	2
	土木解析学	Finite Element Method	2
	開設単位小計	Subtotal of Credits Offered	22
開設単位合計		Total Number of Credits Offered	40

※専門共通科目の「発明工学」を修得しない場合、「地震防災計画学」を修得しなければならない。

図書館 *Library*

図書館では、専門書（人文・社会・自然・工学系）から雑誌（スポーツ・コンピュータ・音楽）まで幅広い資料を収集しています。また、全国の国公立大学・高専の図書館が参加している学術情報ネットワークを利用した電子図書館的機能を持ち、電子ジャーナル・情報検索・文献複写・相互貸借等のサービスを行っています。

1階にはブラウジングコーナー・情報検索室・グループ学習室・学習コーナー・保存書庫があります。2階閲覧室には、学生用図書80,000冊が開架されています。参考図書コーナー・雑誌コーナー・資格試験コーナー・マルチメディアコーナー等があり、よく活用されています。閲覧席は1階、2階を合わせ約130席、ソファ席や情報検索用の席もあります。学外の一般者も利用できます。

The library contains a wide variety of materials, from specialized books to hobby magazines. It is possible to search for, borrow, and make copies of books from other universities by using the Network of Science Information System. On the 1st floor, there are two reading rooms as well as a computer room, a group meeting room, and two book storage rooms. On the 2nd floor, over 80,000 books are readily available for use by the students. There are also reference books, dictionaries, magazines, tapes, videos and CD-ROMs. In addition to all this, there are computers for information searches, which are used extensively by students. Back-issues of magazines are available as well. There are over 130 study carrels and desks on both floors. The library is also open to the public.

蔵書数 *Number of Books*

(平成 26 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2014)

種類 Kinds	和書 Japanese	洋書 Foreign	計 Total
図書 books	81,919	19,836	101,755
雑誌 Magazines	153 (種)	40 (種)	193 (種)

AV資料 *Audio Resource*

ビデオ Video	L D	C D	DVD	CD-ROM	eBook
370	522	163	454	52	50

利用状況 *Data on Yearly Usage of Library Facilities*

(平成 25 年度 As of 2013)

開館日数 Number of Days Open	入館者数 Number of Users	帯出冊数 Number of Books Borrowed
272	79,093	14,266



閲覧室 Reading Room



ブラウジングコーナー Browsing Corner

福利施設 (洗心館) *Welfare Facilities (Senshin Kan)*

福利施設「洗心館」は、学生・教職員の福利厚生のための施設です。学生会室、クラブのミーティングの場として利用される課外活動室、学生部室などがあります。この他、180名を収容できる学生食堂、売店があります。学生のくつろぎの場であり、学生と教職員の親睦をはかる場となっています。

“Senshin Kan” is for the general welfare and benefit of faculty, administrative staff and students. Rooms for student clubs and student assembly are also available. The cafeteria, which has 180 seats, and a convenience store are also in this building.



洗心館 Senshin kan



学生食堂 Cafeteria



売店 Convenience Store

学生寮 *Student Dormitories*

自宅通学が困難な1・2学年の学生は、原則として寮生活を送ります。3学年以上は希望者が入寮します。寮生は寮友会を組織し、自主的で規律のある生活を送っています。収容定員は365名で、男子学生用の高志寮と女子学生用の清花寮があります。

All of the 1st and 2nd year students who cannot commute stay in the dormitories in principle. Other students (3rd to 5th) wishing to live in the dormitories can do so by premission. Students in the dormitories organize a dormitory association and maintain a self-governed group life. The capacity of the dormitories is 365 people. There are the "Koushi Ryo" for male students and "Seika Ryo" for female students.



学生寮 Dormitory



学生寮居室 Dormitory Room

学年別寮生数 *Number of Dormitory Students*

(平成26年4月現在 As of April, 2014)

区 分	1学年 1st	2学年 2nd	3学年 3rd	4学年 4th	5学年 5th	専攻科1年 Adv.1st	専攻科2年 Adv.2nd	計 Total
男 子 Boys	69	60	63 (5)	48 (3)	50 (1)	6	7	303 (9)
女 子 Girls	11	4	9 (2)	7 (2)	9 (3)	1	1 (1)	42 (8)
計 Total	80	64	72 (7)	55 (5)	59 (4)	7	8 (1)	345 (17)

注：() は留学生で内数 The number of international students is parenthesized.

経費 *Expense*

寄宿料	個 室 Single room	月額800円 Monthly
	その他 Other	月額700円 Monthly
	給食費 Cafeteria fee	月額33,005円 Monthly
	管理費 Maintenance fee	年額78,000円 Yearly
	寮友会費 Residence fee	年額4,200円 Yearly



寮祭 Dormitory Festival



寮食堂 Dormitory Cafeteria

国際交流 *International Exchange*

国際交流推進センター *International Affairs Center*

国際交流推進センターは、海外教育機関との協定と交流、日本人学生の留学支援や海外学生派遣研修事業の企画、留学生への支援等を主な役割として、平成 21 年 4 月に設置されました。学内外での異文化コミュニケーション環境を学生に広く提供して、国際交流を推進しています。学内には、国際交流活動の場として地球ラボ室が設置されており、センターと連携しながら異文化理解や国際交流のためのプログラム開発を行っています。また、独立行政法人国際協力機構（JICA）、新潟県、長岡市国際交流課、本学技術協力会や本校の現職、退職教職員によるボランティア組織である雪つばきの会等との地域連携および共同企画による国際交流活動も支援しています。

International Affairs Center has been established in 2009. The role of International Affairs Center is to progress and develop an international exchange and cooperation with overseas educational institutes including universities, in both academic collaboration and student exchange. International Affairs Center also performs a support to international students. We provide an opportunity to learn and understand a cross cultural communication to Japanese students through study abroad every year. International Affairs Center is cooperating with the Japan International Cooperation Agency (JICA) and regional communities such as Niigata prefecture, Nagaoka city international affairs, the NNCT engineers association and some volunteering organizations.

学術交流 *Academic Exchange*

本校は、中国の黒龍江工程学院、南海東軟信息技術学院およびタイの泰日工業大学と学術交流協定を締結しており、学生と教員の交流を行っています。また、平成 17 年度より学生海外派遣研修を実施しており、近年ではマレーシア、オーストラリア、ベトナム、シンガポールに学生を 1 週間程度派遣しています。

Nagaoka National College of Technology has an academic exchange program with Heilongjiang Institute of Technology in China, Neusoft Institute of Information Technology, Nankai in China and Thai-Nichi Institute of Technology in Thailand. This program provides opportunities for students and teachers to do an exchange. NNCT also has done an overseas study program for students since 2005. In recent years, each group of selected students visited Malaysia, Australia, Vietnam and Singapore about for a week.



第 1 回ロボットラインレース大会（バンコク）
1st Android Robot Follow Line Racing
(Bangkok)

留学生 *International Students*

本校では、昭和 60 年度から留学生の受け入れを開始し、平成 26 年 3 月までに 110 名以上の卒業生を送り出しています。これまでに、マレーシア、モンゴル、ベトナム、インドネシア、バングラディシュ、ガボン等からの留学生の受け入れ実績があります。

主な留学生は、日本政府（文部科学省）奨学金留学生（国費外国人留学生）とマレーシア政府派遣留学生です。また、本校では、平成 17 年度から全国の高専に先がけて私費外国人留学生の受け入れを行っています。国費外国人留学生は、来日して 1 年間は文部科学省が指定する予備教育機関で日本語教育その他の予備教育を受けなければなりません。予備教育を修了した国費外国人留学生、マレーシア政府派遣留学生および私費外国人留学生は、高専の第 3 学年に編入して 3 年間の専門教育を受けることになります。

Nagaoka National College of Technology (NNCT) has been accepting international students since 1985, and has graduated more than 110 international students. Up to the present, we have had international students from Malaysia, Mongolia, Vietnam, Indonesia, Bangladesh, Gabon, etc. Most of our international students are grantees of the Japanese Government (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology: MEXT) Scholarship and Malaysian students granted by their government. NNCT also has been accepting privately funded international students since 2004. Grantees of the Japanese Government Scholarship are required to learn the Japanese language and other subjects such as mathematics, Japanese affairs, etc. at a preparatory school, which is designated by MEXT, in Japan for one year. These students will be enrolled into a third-year class with in a college of technology and receive specialized education for three years.

長岡高専地球ラボ *Chikyu-Lab. (Room: Library 1st Floor)*

本校は、2007 年度から、「キャンパスの国際化」プロジェクトに取り組んでいます。工学教育には、諸外国との技術交流やコミュニケーションに対応できる人材の育成も求められています。本プロジェクトの目的は、海外留学生等とのコミュニケーションやボランティア活動を通して異文化理解の機会を与えること、各国の文化の違いを学ぶことです。そこで、活動拠点となる「地球ラボ」室を設立しました。ここでは、日本人学生と留学生が、いつでも活動を企画して参加することができます。また、地球ラボは、長岡市国際交流センター「地球広場」や関係機関、地域企業とも連携しています。

Nagaoka National College of Technology began a student support project for campus internationalization in 2007. It was created to develop internationalization programs from an early grade and within an engineering education. The purpose of this project is to give our students an opportunity to join intercultural understanding through communicating with international students and volunteering in various activities. They can learn about the cultural differences that exist between the many countries on this earth. NNCT has established an area the Chikyu-Lab, where both Japanese and international students can work or share activities together anytime. The Chikyu-Lab is also cooperating with the International Affairs Center of Nagaoka City Office "Chikyu Hiroba". It is related associations and companies around Nagaoka in this endeavor.

共同利用教育・研究施設 *Research Facilities*

■ 総合情報処理センター *Information Research Center*

総合情報処理センターには、ネットワーク管理サーバ及び教育用パーソナルコンピュータが設置されています。低学年ではコンピュータリテラシ教育、情報倫理教育、プログラミング教育などに活用されています。高学年及び専攻科では、専門科目におけるコンピュータ援用教育や研究活動に活用されています。学生全員にメールアドレスが配布され、インターネットが自由に使える環境が整っています。

総合情報処理センターの端末室は、学生の自学自習を支援するため、授業での使用時間を除いてオープン方式で運営されています。学内の計算機は、高速キャンパス情報ネットワークを介して学術情報ネットワーク（SINET）及びインターネットに接続されています。学内外のネットワークを通じてサーバ上の資源を24時間利用することができます。

The Information Research Center has servers for networking, as well as personal computers for education. The center aims to give computer literacy, guidance for network etiquette and programming to 1st and 2nd grade students. In addition, it is available for computer-aided education and research activities for other (3rd to 5th) grade students and students enrolled in Advanced Engineering Courses. All students are registered to the e-mail system, and they can freely use the well-organized network connected to the Internet. When the computer room is not being used for class, it is open for students to use to encourage them to study by themselves. Computers at our campus are hooked up to the SINET and the Internet via high-speed LAN. The resources on our servers can be accessed via LAN/WAN 24 hours a day.

職 名 Title	氏 名 Name
センター長(併任)(電子制御工学科教授)	佐 藤 秀 一 SATO, Shuichi
センター副長(併任)(電子制御工学科准教授)	竹 部 啓 輔 TAKEBE, Keisuke
センター副長(併任)(電子制御工学科助教)	上 村 健 二 KAMIMURA, Kenji
センター副長(併任)(学生課課長補佐)	堀 圭 司 HORI, Keiji



第2 端末室 Computer Room 2 for Education



総合情報処理センター サーバ室
Server Room for Networking



総合情報処理センター サーバ室
Server Room for Networking

■ 雪氷低温技術教育研究センター *Snow and Ice Research Center*

積雪地域における技術者には、積雪期の交通、電気、ガス、水道、建造物あるいは各種工業材料等の特性についての知識を有することが必要とされています。省エネルギー、省資源が叫ばれていますが、雪は貴重な淡水資源、冷熱源であり、この雪の有効利用を進めることも極めて貴重な課題です。

本校は、これらの課題に対処するためには極めて適切な立地条件にあり、教育上の重要な方針のひとつとしてこれらの関係知識、技術の教育も重視しています。本施設において、常温から北陸地方特有の湿雪温度を中心に氷点下 30 度までの範囲にわたる低温についての基礎及び応用面の実験、実習を行うことができ、卒業研究や教員研究、学外から委託研究、共同研究などに活用されています。



貯雪の強度試験
Strength Test of the Stored Snow

Nagaoka National College of Technology is located in a region known for its heavy snowfall in the winter. Engineers in areas prone to heavy snowfalls need to know the special technology used for dealing with these conditions as they pertain to traffic, utilities (water and gas), electricity and buildings. Snow is considered to be a valuable natural resource, so it is important to investigate productive ways to use it. NNCT places special emphasis on educating engineers for work in these regions. Various experiments are conducted in this field of study, using temperatures as low as -30°C

■ 地域共同テクノセンター *Regional Technology Research Center*

本センターは、産学官の連携を促進する事により、本校の教育研究の充実発展に資するとともに、地域社会の発展に寄与する事を目的として、平成 14 年 11 月に設置されました。主な業務は、地域企業との共同研究や受託研究等の実施、実験研究設備の提供、技術相談、共同研究発表会の開催、地域行政及び産業界との連携、本校における研究成果の公開などです。主要設備であるワイヤー放電加工機、レーザー加工機、SEM 等に加え、ICP、XRD、XRF などの装置も導入され、産学官連携推進のために、テクノセンターの益々の活用が期待されます。

The center was established in November, 2002, to promote the cooperation between academia, business, and government with the aim of contributing to the development of the regional community, together with the development of educational research. The main objectives of this center are : to conduct joint research combining regional enterprise and funded research, to offer experimental research facilities, technical consultation, joint hosting of research symposiums, coordination of regional administration and industry and the publication of technical research data. A wire electrical discharge machine, a laser processing machine and an SEM, among other machines, were installed in this center (RTRC). In addition to these machines, experimental test rigs, such as an ICP, XRD, and XRF were also installed.



分析型走査電子顕微鏡
EDX-Scanning Electron Microscope



ワイヤー放電加工機
Wire Electrical Discharge Machine

学年暦 (平成 26 年度) *School Calender*

前 期	4 月 1 日(火)～6 日(日)	春季休業 <i>Spring Break</i>
	7 日(月)	入学式 <i>Entrance Ceremony</i>
	8 日(火)	始業式 <i>Opening Ceremony</i>
	9 日(水)	授業開始 <i>Classes start</i>
	5 月 15 日(木)	学生会行事 <i>Student Events</i>
	6 月 1 日(日)	開校記念日 <i>Foundation Day</i>
	3 日(火)～6 日(金)	中間試験 (1～3 学年) <i>Mid-Term Exams for 1st-3rd year Students</i>
	28 日(土)～7 月 21 日(月)	関東信越地区高専体育大会 <i>Local Technical Colleges Sports Competition</i>
	7 月 25 日(金)～31 日(木)	前期末試験 <i>Final Exams</i>
	8 月 11 日(月)～9 月 21 日(日)	夏季休業 <i>Summer Break</i>
後 期	19 日(火)～31 日(日)	全国高専体育大会 <i>All-Japan Technical Colleges Sports Competition</i>
	28 日(木)～30 日(土)	関東信越地区文化発表会 (東京) <i>Local Cultural Club Festival</i>
	9 月 22 日(月)	後期始業式 <i>Opening Ceremony</i>
	25 日(木)	後期授業開始 <i>Classes start</i>
	10 月 15 日(水)	学生会行事 <i>Student Events</i>
	31 日(金)～11 月 2 日(日)	高志祭 <i>School Festival</i>
	11 月 27 日(木)～12 月 2 日(火)	中間試験 (1～3 学年) <i>Mid-Term Exams for 1st-3rd year Students</i>
	12 月 17 日(水)	学生会行事 <i>Student Events</i>
	25 日(木)～1 月 6 日(火)	冬季休業 <i>Winter Break</i>
	2 月 6 日(金)～13 日(金)	学年末試験 <i>Final Exams</i>
	3 月 19 日(木)	第 49 回卒業式 <i>The 49th Graduation Ceremony</i>
		第 14 回専攻科修了式 <i>The 14th Advanced Engineering Courses Graduation Ceremony</i>
	20 日(金)～31 日(火)	学年末休業 <i>Spring Break</i>



入学式 *Entrance Ceremony*



学生会行事 *Student Events*



未工祭 (学園祭) *School Festival*



卒業式 *Graduation Ceremony*

学生 *Students*

定員及び現員 *Quota and Actual Numbers*

(平成 26 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2014)

区 分 Course	定 員 Quota		現 員 Actual					
	1 学年 1st	総定員 Total	1 学年 1st	2 学年 2nd	3 学年 3rd	4 学年 4th	5 学年 5th	計 Total
機械工学科 Mechanical Eng.	40	200	41 ①	41	48 ①(2)	38 (1)	39 (1)	207 ②(4)
電気電子システム工学科 Electrical and Electronic Systems Eng.	40	200	42 ②	42 ②	42 ②(1)	43 ①	37 ②	206 ⑨(1)
電子制御工学科 Electronic Control Eng.	40	200	43 ③	42 ②	44 ④(1)	40 ①(1)	38 ③	207 ⑬(2)
物質工学科 Materials Eng.	40	200	43 ⑫	42 ⑬	42 ⑬(2)	43 ⑪(2)	41 ⑬(1)	211 ⑦(5)
環境都市工学科 Civil Eng.	40	200	41 ⑫	41 ⑨	40 ⑫(1)	49 ⑧(1)	36 ⑤(3)	207 ④(5)
計 Total	200	1,000	210 ⑩	208 ⑩	216 ⑤(7)	213 ②(5)	191 ②(5)	1,038 ④(17)

区 分 Course	定 員 Quota		現 員 Actual		
	1 学年 1st	総定員 Total	1 学年 1st	2 学年 2nd	計 Total
電子機械システム工学専攻 Electronic Mechanical Systems Engineering Advanced Course.	12	24	22 ②	21	43 ②
物質工学専攻 Materials Engineering Advanced Course.	4	8	8 ④	9 ④(1)	17 ⑧(1)
環境都市工学専攻 Civil Engineering Advanced Courses	4	8	7 ①	7 ①(1)	14 ②(1)
計 Total	20	40	37 ⑦	37 ⑤(2)	74 ⑫(2)

注:○内数字は女子学生数、()内数字は留学生

出身中学校による市町村別在学生数

Number of Students by District of Alma Mater

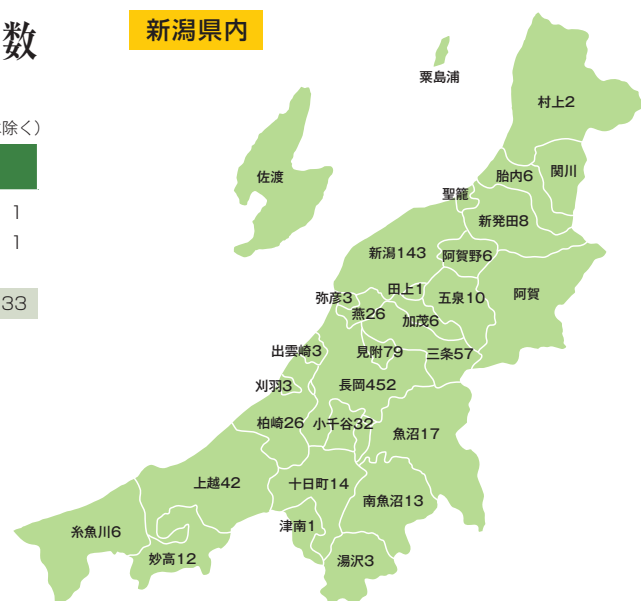
(4 年編入生、専攻科生は除く)

県 外					
埼玉県	13	神奈川県	3	京都府	1
長野県	5	東京都	2	アメリカ	1
千葉県	3	福島県	1		
栃木県	3	静岡県	1	計	33

外国人留学生 International Students

マレーシア Malaysia	8
ベトナム Vietnam	7
インドネシア Indonesia	2
モンゴル Mongolia	2
計	19

新潟県内



主な修学費 *Breakdown of Students' Tuition*

(平成 26 年度)

項 目 Items	学 年 School Year	1 学年 1st		2 学年 2nd	3 学年 3rd	4 学年 4th	5 学年 5th	専攻科 Advanced Engineering Course	
		入学時 Upon Acceptance	入学後 After Acceptance					1 学年 1st	2 学年 2nd
入学科 Entrance Fee		84,600						84,600	
授業料 Basic Tuition		1※ 0~117,300	1※ 0~117,300 (後期) (second term)	2※ 115,800	2※ 115,800	234,600	234,600	234,600	234,600
学生会費 Student Council Membership		9,000		9,000	9,000	9,000	9,000	2,000	2,000
学校行事費 School Events Expenses		4,500		27,000	33,000	33,000			
日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金 Disaster mutual aid payment		1,520		1,520	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520
教科書・教材費等 Textbook and Other Materials		60,000		26,000	26,000	28,000	23,000	20,000	5,000

1※金額は「高等学校等就学支援金」を受けた後の負担額です。保護者の所得状況によって金額が変わります。

2※金額は「高等学校等就学支援金」を受けた後の負担額です。また、保護者の所得状況によっては、就学支援金の加算申請を行うことができます。

クラブ活動 *Club Activities*

学生会の体育委員会、文化委員会の中に体育クラブ、文化クラブが組織されています。クラブの自発的活動は、学生の人間形成に極めて有意義です。体育クラブでは、陸上競技、水泳、野球、バレーボール、バスケットボール、サッカー、ハンドボール、テニス、ソフトテニス、卓球、バドミントン、柔道、剣道の競技については、毎年全国高専体育大会が開かれています。文化クラブは毎年開催される関東信越地区高専文化発表会に参加し、日頃の活動の成果を披露しています。

Sports clubs and cultural clubs belong to the Sports Committee and Culture Committee of the Student Council. Participation in club activities is beneficial for the development of one's personality. Every year technical college sports competitions are held for track and field, swimming, baseball, volleyball, soccer, handball, tennis, softball tennis, table tennis, badminton, Judo and Kendo. Many of our cultural clubs participate in the Kanto Shinetsu area technical college cultural exhibition every year. And they display their projects or perform at the exhibition.



硬式野球部 Baseball



吹奏楽部 Brass Band

クラブ現況 *Club States*

(平成 26 年 5 月 1 日現在 As of May 1, 2014)

体 育 系	Sports Clubs	部員数 Members
陸上競技部	Track and Field	31
山岳部	Mountaineering	8
バスケットボール部	Basketball	29
バレーボール部	Volleyball	18
テニス部	Tennis	36
ソフトテニス部	Softball Tennis	28
卓球部	Table Tennis	32
サッカー部	Soccer	48
柔道部	Judo	12
剣道部	Kendo	19
バドミントン部	Badminton	37
スキー部	Skiing	28
ハンドボール部	Handball	24
水泳部	Swimming	24
硬式野球部	Baseball	38
アーチェリー部	Archery	31
ゴルフ部	Golf	14
フットサル部	Futsal	55
軟式野球同好会	Baseball	16
ダンス同好会	Dance	15
計 Total		543

体 育 系	Sports Clubs	部員数 Members
吹奏楽部	Brass Band	21
美術部	Art	37
写真部	Photography	35
インターアクトクラブ	Interact	51
電算機部	Computer	69
文芸部	Literature	20
軽音楽部	Rock music	54
ロボティクス部	Robotics	43
英語部	English	27
化学部	Chemistry	44
書道部	Calligraphy	27
デザイン部	Design	12
制御システム研究同好会	Control System Reseach	8
模型同好会	Model	28
天文同好会	Astronomical	20
計 Total		496

進路 *After Graduation*

進路状況 *After Graduation Pursuits*

(平成 25 年度卒業・修了生)

学 科 departments	区 分 Course	進 路					求人状況		
		卒業者数	進学者数	就職者数		その他	求人数	求人倍率	県内 求人数
機械工学科 Dept. of Mechanical Engineering		42	24	4	11	3	359	23.9	32
電気電子システム工学科 Dept. of Electrical and Electronic Systems Engineering		35	20	5	10	0	362	24.1	30
電子制御工学科 Dept. of Electronic Control Engineering		41	38	1	2	0	278	92.7	18
物質工学科 Dept. of Materials Engineering		44	36	1	6	1	130	18.6	13
環境都市工学科 Dept. of Civil Engineering		38	26	3	8	1	193	17.5	33
計 Total		200	144	14	37	5	1,322	25.9	126

※県内求人数内数

専攻科 advanced courses	区 分 Course	進 路					求人状況		
		修了者数	進学者数	就職者数		その他	求人数	求人倍率	県内 求人数
電子機械システム工学専攻 Electrical and Mechanical Systems Engineering Advanced Course		15	5	6	4	0	635	63.5	47
物質工学専攻 Materials Engineering Advanced Course		4	3	1	0	0	80	80.0	8
環境都市工学専攻 Civil Engineering Advanced Course		9	3	2	4	0	193	32.2	33
計 Total		28	11	9	8	0	908	53.4	88

※求人数は学科分も含む

進学先一覧 *Universities to which Students Transferred*

(平成 21 年度～平成 25 年度)

大学 University		年度 Year	平成21年度 2009	平成22年度 2010	平成23年度 2011	平成24年度 2012	平成25年度 2013
学 科	北海道大学	Hokkaido Univ.	1				1
	室蘭工業大学	Muroran Inst.Tech.			1		
	弘前大学	Hirosaki Univ.	1				
	岩手大学	Iwate Univ.			1		
	東北大学	Tohoku Univ.	3	1		2	2
	秋田大学	Akita Univ.			1		
	山形大学	Yamagata Univ.	1		1		1
	茨城大学	Ibaraki Univ.	1		1	3	
	群馬大学	Gunma Univ.	1	1	1		
	千葉大学	Chiba Univ.	2	1	2	2	2
	東京大学	Tokyo Univ.					1
	東京農工大学	Tokyo Univ.Agric.Tech.	1	2		3	4
	東京工業大学	Tokyo Inst.Tech.	1	2		2	4
	東京海洋大学	Tokyo Univ. of Marine Sci. and Tech.			1		
	電気通信大学	Univ. Electro-Commu.	2	1			1
	横浜国立大学	Yokohama Nation.Univ.		1			1
	新潟大学	Niigata Univ.	12	5	9	19	14
	筑波大学	Univ. Tsukuba		1	1		2
	長岡技術科学大学	Nagaoka Univ.Tech.	58	74	62	60	59
	富山大学	Univ. Toyama	1	2	2	2	2
	金沢大学	Kanazawa Univ.	5		2	1	1
	福井大学	Univ. Fukui	2			1	
	信州大学	Shinshu Univ.	2	4	5	3	
	静岡大学	Shizuoka Univ.	2				
	名古屋工業大学	Nagoya Inst.Tech.			1		
	豊橋技術科学大学	Toyohashi Univ. Tech.	2	4	6	6	7
	岐阜大学	Gifu Univ.			1		
	京都大学	Kyoto Univ.	1				
	京都工芸繊維大学	Kyoto Inst.Tech.		1	1		1
	大阪大学	Osaka Univ.			1		
	奈良女子大学	Nara Women's Univ.			1		
	神戸大学	Kobe Univ.	1	1			
	和歌山大学	Wakayama Univ.		1			
	岡山大学	Okayama Univ.				1	
	九州工業大学	Kyushu Inst.Tech.				1	
	鹿児島大学	Kagoshima Univ.			1		
	公私立大学・専修学校	Other	4	2	7	2	5
	長岡工業高専専攻科	Nagaoka College.Tech.	34	26	28	38	36
	計 Total		138	130	137	146	144
専 攻 科	北海道大学大学院	Hokkaido Univ. Graduate School			1		
	東京工業大学大学院	Tokyo Inst.Tech. Graduate School		1	1		
	新潟大学大学院	Niigata Univ. Graduate School	5	1			2
	長岡技術科学大学大学院	Nagaoka Univ.Tech. Graduate School	7	6	14	5	6
	金沢大学大学院	Kanazawa Univ.Graduate School				1	1
	総合研究大学院大学	The Graduate University for Advanced Studies		1			
	静岡大学大学院	Shizuoka Univ. Graduate School				1	
	和歌山大学大学院	Wakayama Univ. Graduate School	1				
	奈良先端科学技術大学院大学	Nara Institute of Sci. and Tech.			1		1
	九州大学大学院	Kyushu Univ. Graduate School		1			
	首都大学東京大学院	Tokyo Metropolitan Univ. Graduate School			1		1
	秋田県立大学大学院	Akita Prefectural Univ. Graduates School	1				
	早稲田大学大学院	Waseda Univ. Graduate School				1	
	計 Total		14	10	18	8	11

就職先一覧 Companies Employing Students

【学科】

(平成 25 年度)

産業分類名		企業名 Companies	学科名 Departments					
			機械	電気	電制	物質	環境	合計 Total
鉱業	Mining	日本海洋掘削(株)	1					1
建設業	Construction	日本道路(株)				1		1
		(株)ナンバ				1		1
		(株)植木組				2		2
		エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)				1		1
製造業 Manufacturing	食料品製造業	山崎製パン(株)	1					1
		森永乳業(株)	1					1
	飲料・たばこ・飼料製造業	朝日酒造(株)	1					1
		サントリープロダクツ(株)	1					1
	パルプ・紙・紙加工品製造業	日本トーカンパッケージ(株)		1				1
		(株)クラレ		1		1		2
	化学工業	星光PMC(株)				1		1
		日揮触媒化成(株)				1		1
		日本プチル(株)				1		1
	プラスチック製品製造業	日東電工(株)				1		1
	非鉄金属製造業	(株)トクサイ		1				1
	金属製品製造業	(株)吉則螺子製作所	1					1
		東プレ(株)		1				1
	はん用機械器具製造業	理研精機(株)	1					1
		(株)椿本チエイン	1					1
		ミネベア(株)		1				1
	生産用機械器具製造業	(株)ツガミ	1					1
		マコー(株)		1				1
		(株)トライテック			1			1
	電気機械器具製造業	東芝メディカルシステムズ(株)			1			1
	輸送用機械器具製造業	三恵技研工業(株)	1		1			2
		富士重工業(株)	1					1
		新潟原動機(株)		1				1
電気・ガス・熱供給・水道業	Utilities	東北電力(株)		3				3
		黒部川電力(株)		1				1
		東京電力(株)		1				1
		東京ガス(株)					1	1
運輸業	Transport	東京モノレール(株)	1					1
		東日本旅客鉄道(株)					1	1
		東海旅客鉄道(株)					1	1
卸売業、小売業	Services	(株)新潟日立	1	1				2
		第一電子産業(株)		1				1
		東燃ゼネラル石油(株)				1		1
		(株)アミング					1	1
専門・技術サービス業	Professional And Technical Services	(株)エヌ・ティ・ティ エムイー					1	1
宿泊業、飲食サービス業	Services	(株)しおさいフーズ	1					1
		麺や		1				1
サービス業	Services	リコーテクノシステムズ(株)	1					1
		(株)メディサイエンスプランニング				1		1
		東京水道サービス(株)					1	1
計 Total			15	15	3	7	11	51

【専攻科】

(平成 25 年度)

産業分類名		企 業 名 Companies	専攻名 Courses			
			電子機械	物 質	環境都市	合計Total
建設業 Construction		(株)本間組			1	1
		大鉄工業(株)			1	1
製造業 Manufacturing	化学工業	(株)クラレ	1			1
	非鉄金属製造業	(株)トクサイ		1		1
	生産用機械器具製造業	(株)トライテック	1			1
		ユニオンツール(株)	1			1
		キヤノントッキ(株)	1			1
	業務用機械器具製造業	日本精機(株)	1			1
	電子部品・デバイス・電子回路製造業	栄通信工業(株)	1			1
	電気機械器具製造業	(株)ベルニクス	1			1
	(株)日立産機システム	1			1	
	輸送用機械器具製造業	ジョンソンコントロールズ(株)			1	1
電気・ガス・熱供給・水道業 Utilities		東北電力(株)			1	1
情報通信業 Information and Communications		ドコモエンジニアリング(株)	1			1
		(株)NS・コンピュータサービス	1			1
運輸業 Transport		(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟			1	1
		東日本旅客鉄道(株)			1	1
計 Total			10	1	6	17

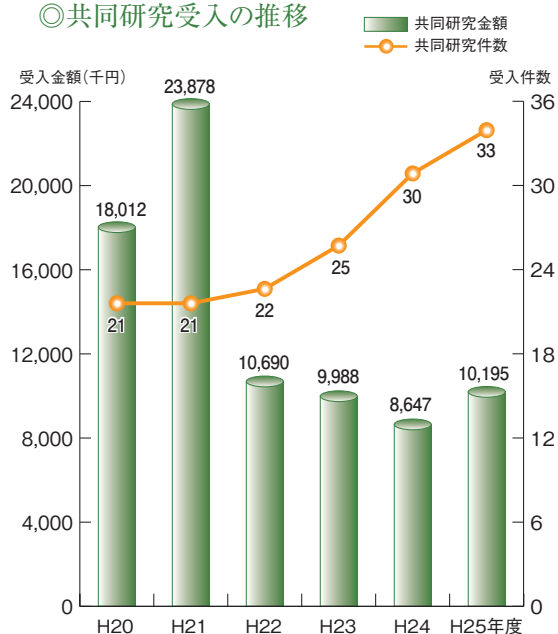
研究活動 *Research Activities*

産業界における技術革新と変化に教育内容を即応させるために、本校でも近年研究活動が活発に行われています。次のグラフは、外部資金の受け入れ状況をまとめたものです（科学研究費補助金、企業との共同研究、委託研究、奨学寄付金など）。研究の成果は、学会誌や本校の研究紀要において報告されています。

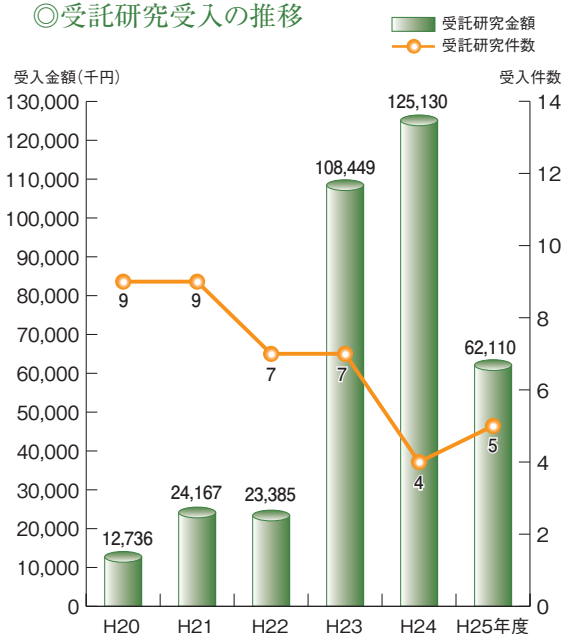
Research activities are actively carried out recently so that technological innovation and change in industrial world may meet it to the education content. The following graphs are the summary of outside funds acceptance situation (Grant-in-Aids for Scientific Research, Cooperative Research with Enterprises, Contract Research, and so on). The research results are reported in academic journal and research bulletin of Nagaoka National College of Technology.

長岡工業高等専門学校における外部資金受入状況

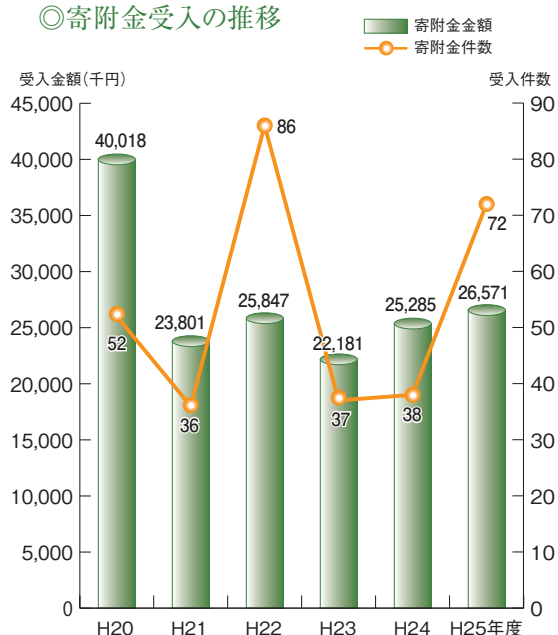
◎共同研究受入の推移



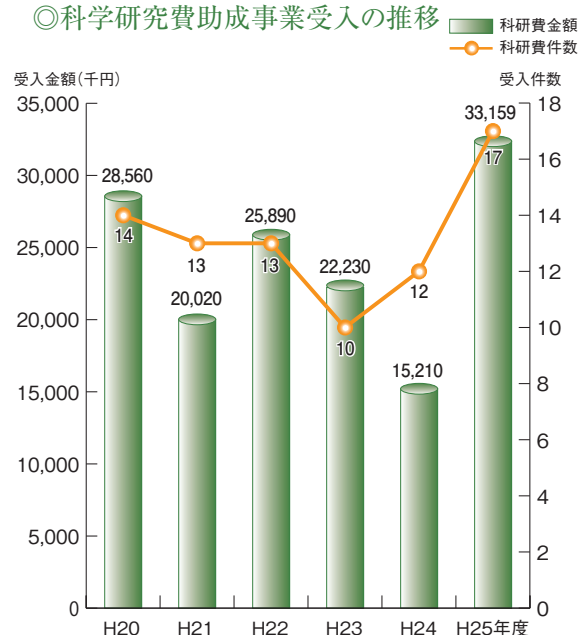
◎受託研究受入の推移



◎寄附金受入の推移



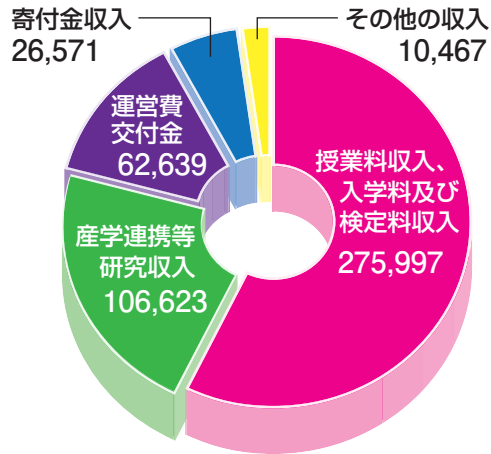
◎科学研究費助成事業受入の推移



財務状況・施設の概況（平成 25 年度） *Revenue and Expenditures Facilities*

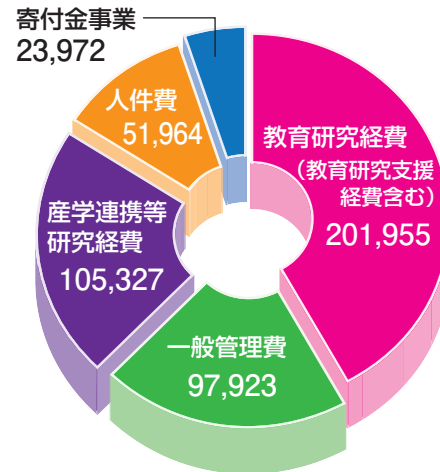
(単位：千円)

平成25年度 収入決算額



収入 482,297 千円

平成25年度 支出決算額



収入 481,141 千円

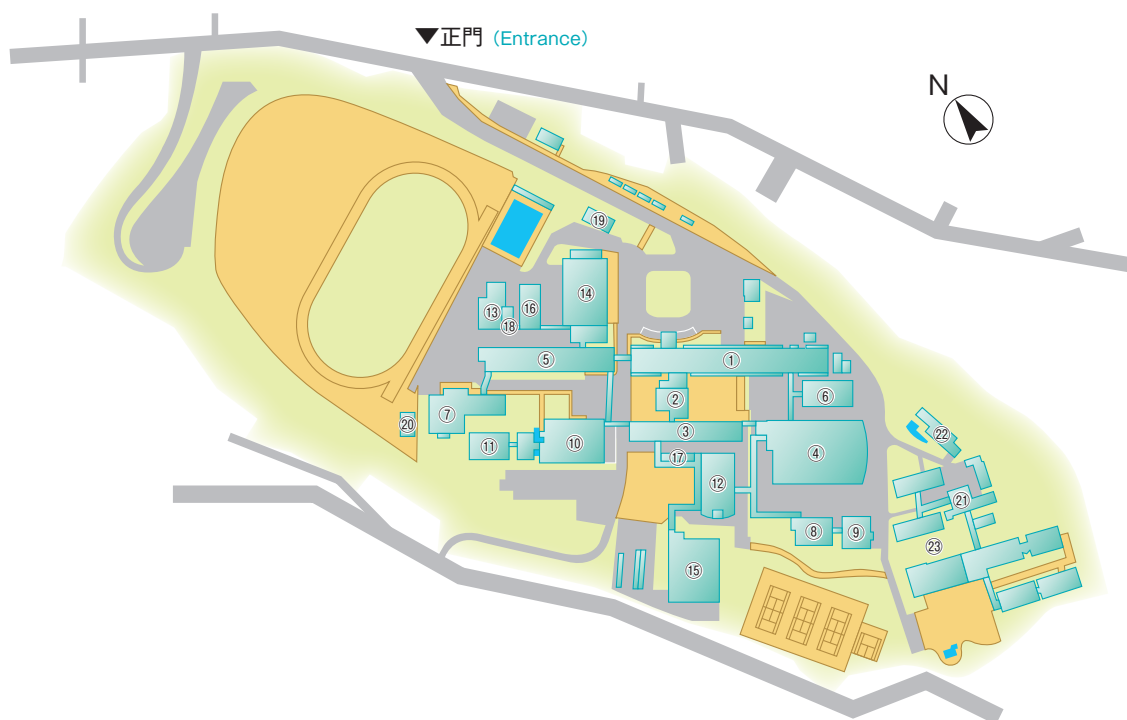
施設の概要 *Facilities*

敷		地	
校舎等	野球場	その他	総面積
104,410㎡	17,124㎡	276㎡	121,810㎡

建 物		
	名 称	面 積
校舎等	1号館	3,693㎡
	1号館(中央棟)	1,008㎡
	2号館	1,737㎡
	3号館	4,998㎡
	4号館	3,683㎡
	5号館	1,296㎡
	6号館	3,428㎡
	機械実験棟	595㎡
	図書館	1,437㎡
	総合情報処理センター	445㎡
	雪氷低温技術教育研究センター	326㎡
	渡廊下・車庫・その他	875㎡
	計	23,521㎡

建 物		
	名 称	面 積
体育・福利施設	第1体育館	855㎡
	第2体育館	944㎡
	体育管理室・柔道場グラウンド	477㎡
	管理室	94㎡
	剣道場	280㎡
	福利棟	917㎡
	学生部室	292㎡
	計	3,859㎡
寄宿舎等	1号館	714㎡
	2号館	714㎡
	3号館	2,249㎡
	4号館	2,166㎡
	清花寮	621㎡
	管理棟	451㎡
	その他の建物	798㎡
	計	7,713㎡
総 計		35,093㎡

建物配置図 School Map

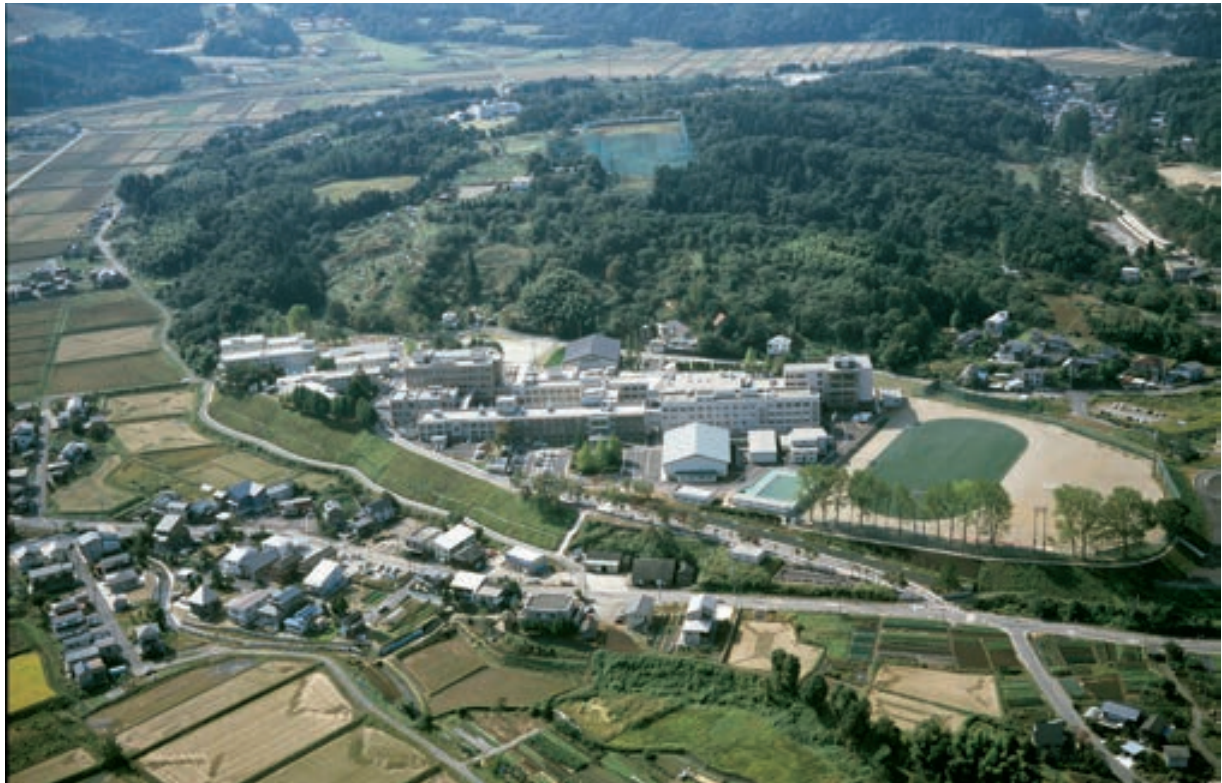


- ① 1号館(総務課、電気電子システム工学科、物質工学科)
Building No.1 (General Affairs Section,
Electrical and Electronic Systems Eng., Materials Eng.)
- ② 1号館中央棟
Building No.1 (Center Building)
- ③ 2号館(電子制御工学科)
Building No.2 (Electronic Control Eng.)
- ④ 3号館(機械工学科、環境都市工学科、機械工場、地域共同テクノセンター)
Building No.3 (Mechanical Eng., Civil Eng.,
Training Factory for Machine Operation, Regional
Technology Research Center)
- ⑤ 4号館(学生課、一般教育科)
Building No.4 (Student Affairs, General Education)
- ⑥ 5号館(電子制御工学科、物質工学科)
Building No.5 (Electronic Control Eng., Materials Eng.)
- ⑦ 6号館(講義棟)
Building No.6 (Classrooms)
- ⑧ 機械実験棟
Center of Mechanical Engineering
- ⑨ 雪氷低温技術教育研究センター
Snow and Ice Research Facilities
- ⑩ 図書館
Library
- ⑪ 総合情報処理センター
Information Research Center

- ⑫ 福利棟(洗心館)
Welfare Facility (Senshin Kan)
- ⑬ 体育管理室・柔道場
Gymnasium Keeper's Office, Judo Hall
- ⑭ 第1体育館
Gymnasium 1
- ⑮ 第2体育館
Gymnasium 2
- ⑯ 剣道場
Kendo Hall
- ⑰ 学生部室1
Club Room 1
- ⑱ 学生部室2
Club Room 2
- ⑲ 学生部室3
Club Room 3
- ⑳ グランド管理室
Grounds Keeper's Office
- ㉑ 学生寄宿舎管理棟
Dormitory Management Office
- ㉒ 学生寄宿舎(清花寮)
Dormitory (Seika Ryo)
- ㉓ 学生寄宿舎(高志寮)
Dormitory (Koushi Ryo)



本校の位置 Location Map



■ 本校へのアクセス

① バス利用

- JR長岡駅東口から(越後交通)乗車
- 2番線「悠久山」(悠久山公園経由)行
ー(約12分)ー片貝入口下車ー
徒歩7分
- 1番線「成願寺」行ー(約15分)ー
高専前下車ー徒歩2分

② タクシー利用

- JR長岡駅東口から約10分

■ Directions to the School

① By Bus : Take the "Yukyuzan-Yukyuzan Koen" bus from the N0.2 bus stand at the East Exit of JR Nagaoka Station. Get off at the "Katakai-Iriguchi" bus stop. Walk east along the main road for about 7 minutes. You will see the school on a hill to the right.

② By Taxi : Take a taxi from the East Exit of JR Nagaoka Station. It takes about 10 minutes.



■ 事務部直通電話 (市外局番0258)

総務グループ	349311	教務・入試グループ	349331
職員グループ	349313	学生支援グループ (学生支援担当)	349332
財務企画グループ	349321	学生支援グループ (寮務担当)	349335
契約・施設グループ (用度担当)	349323	図書グループ	349333
契約・施設グループ (施設担当)	349325		

学校概要 平成26年6月発行



独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校

Nagaoka National College of Technology

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888番地

TEL 0258-32-6435(代表) FAX 0258-34-9700

ホームページアドレス <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>



Institute of National Colleges of Technology, Japan
NAGAOKA NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY
888 Nishikatai, Nagaoka, Niigata 940-8532, Japan
Phone +81[258]32-6435 FAX +81[258]34-9700
<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>